

特定非営利活動法人

VOL.31

南国暮らしの会

2006 年 新 年 号



平成 18 年 1 月 28 日



NPO 法人 南国暮らしの会

登録第4810100号
REGISTRATION NUMBER

目 次

(敬称略)

目次				1
初春の挨拶	No. 3	池田 徳三郎		2
平成18年の新年にあたり	No. 24	酒匂 景輝		3
新年のご挨拶	No. 625	工藤 俊一		4
東北支部より	No. 218	和田 隆		6
新年のご挨拶	No. 163	宮崎 哲郎		7
南国暮らし、私の場合は？	No. 487	横井 保夫		8
“渡り鳥ライフ” 4年目を迎えて	No. 96	宮澤 英光・幸子		12
謹賀新年	No. 147	三谷 昌鴻		13
サワッデー ピーマイ (新年おめでとう) !	No. 558	伊沢 豊		15
ペナン島より新年の御挨拶	No. 568	竹岡 孝志		16
バギオ支部 新年のご挨拶	No. 227	斎木 一		18
セブより新年のご挨拶	No. 198	川上 雅久		20
真夏のパースから	No. 110	藤本 靖人		21
記念すべき会員NO. 1000番	No. 1000	林 隆雄		22
入会して良かった。感謝!!	No. 173	平山 三雄・律子		23
『2006年の計をたてるにあたって』	No. 111	堀江 幸博		24
2005年を振り返って	No. 26	鈴木 宣夫		26
クアラルンプールでのロングステイ	No. 430	田村 泰夫		29
2006年の計	No. 618	大木 研一		33
支部長拝命にあたり	No. 423	村上 安		36
KL支部長を引き受けるにあたって	No. 430	田村 泰夫		36
“Route66” 6400キロの旅 (青年時代からの夢の実現)	No. 740	渡辺 亜雄		37
これで良いのか？アジアの日本人ロングステイヤー？	No. 495	石原 彰太郎		42
『南国暮らしの会』に入会して・・・	No. 996	歌田 晃一		43
自己紹介	No. 989	荒川 みつ子		44
2006年、私達の「南国暮らし」計画	No. 38	橋本 比奈子		44
南の会と共に	No. 741	村田 千岳		45
関東支部便り	No. 163	宮崎 哲郎		48
九州支部便り	No. 128	稲延 豁		49
メーリングリスト委員会	No. 712	高田 勝弘		51
総務部会	No. 163	宮崎 哲郎		54
経理部会	No. 434	大野 悦子		54
海外支部「べからず集」	No. 163	宮崎 哲郎		55
編集後記	No. 281	村松 幸子		57

表紙の写真は世田谷区砧の君津カヨさんからの提供です。



初春の挨拶

会長 No.3 池田 徳三郎

会員の皆様と共に初春を寿ぐことが出来ますのも皆様方のお陰と深く感謝しております。

毎日がサンデーですと1年の大切な節目が無くなり、多忙な昔日の新年が懐かしくなります。

年頭の挨拶を会報に掲載する機会も最後であろうと拝察しますが、この機会にNPO法人として当会の大切な使命である社会的貢献とその重要な責任についての私見に先ず触れます。

若し仮にNPO法人の目的を無視して「あること」を議論し、決定することがあれば、その決定は関係法令・定款に反する誤りでしょう。

このことは2004年の会報の夏号にも既に触れましたが、年頭に当り改めて会員の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

NPO法人の目的と責任

当会は「非営利活動法人推進法」に準拠するNPO法人であります。同法の第1条(目的)に、「……ボランティアをはじめとする市民(民間)の自由な社会貢献活動としてのNPOの健全な発展を促進し、もつて公益の増進に寄与することを目的とする」と明示され、また同法第2条第1項には、「NPO法人とは……不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものをいう」と定めており、NPO法人はこの規定を遵守する責任があります。

当会の社会的貢献活動と責任

当会は数少ない海外会員、ロングステイ会員等の「自発のご奉仕(ボランティア)」による海外情報のご提供と国内会員のご奉仕による膨大な情報蓄積をしてきましたが、それらは会員・会の大切な財産として共有し、大切に管理されております。

さらに蓄積した貴重な情報の一部は、本、雑誌、新聞、TV、講演会等により、広く一般に公開する活動を継続してきました。その結果、

南の国々の情報を持たない多くの人々のために正しい情報を提供し、会員のためだけでなく公益の増進並びに不特定多数の人々の利益の増進に寄与し、その責任を果たしてきました。

会員の誇りと自覚

不特定多数の人々に対し当会の活動をPRし、出来れば入会を進め、南の国々の情報を提供することは不特定多数の人々に対して利益の増進に寄与することになるとの誇り、と更に「出来る範囲で無償の時間を当会のために役立てれば、社会のために役立つ」との自覚をもって、楽しみながらのお力添いが大切でしょう。

この誇りと自覚が会のなかで浸透できれば、極一部会員の海外での非常識な言動は自ずと除去され、会の組織的活動内容はさらに自ずと充実し、中身の濃いより楽しい会になることでしょう。

望まれる若き会員の頭脳の結集

世界の政界(英・独など)・企業(GM始め)のトップも若返りの趨勢にあります。

前記の情報公開活動の例は従来の活字報道、講演会、TV活動の継続も欠かせませんが、それ以上に注目すべきは、メディア情報社会がイノベーションの加速化で急変しており、変化に即応した柔軟な若き会員によるホットなニュー・スタイルを構築し、実現することも不可欠でしょう。

夢多き支部活動

今後の夢は、北から南まで会の共通の目的を持つ7つの国内の支部活動が、支部の地域的特性にマッチした自主的活動を支部長・役員を中心に多くの困難を克服して展開し、各支部が特徴ある楽しい支部に飛躍することでしょう。

海外支部の支援

海外の支部活動と情報は当会最大のメリットであり、最大特色であります。その為海外会員の充実と増加に最大の支援が望まれます。海外会員が1人でも増加することは会のため、社会のために役立つプラスの量は遥かに大きいでしょう。

海外支部が組織的に纏まることは多くの困難を伴うでしょうが、小事の争い・ひずみを収め、大局的にその困難を克服し、皆が仲良くし、会の趣旨を理解し、その目的のために協力する人々の支援その他を組織的制度的に再考すべきでしょう。

各海外支部が支部長を軸に支部活動と海外情報の提供にご協力くだされば、会の特色はその輝きをさらに顕著に増すことでしょう。

皆様のご清栄とご健勝を祈念しながら (了)

平成18年の新年にあたり

南国暮らしの会 No.24

理事長 酒匂 景輝

謹んで新春を

お慶び申し上げます。

皆様には素晴らしい新年をお迎えのことと存じます。

・はじめに(干支より)

平成18年は、丙戌(ひのえいぬ)三碧木星中宮の年です。丙(陽火)は陽気がいよいよ現れてきて輝き照ること、太陽の生气により万物を生ぜしめる。戌(陽土)は酉の後を受けて、熟したものを採り入れることを意味します。三碧木星は運勢的に勢いが盛んであるとされ、希望・発展・活動開始・猛進行動の傾向をはらんだ年だそうです。(気学暦より抜粋)

我々の南国暮らしの会も正にその機運を孕んだ年になりそうです。



*南国暮らしの会の現状

- ・会員数は平成17年12月末日現在で会員No.: 1,013番、会員数:628名、家族会員:350名となり、家族会員を含むと1,000人に近づいています。17年度の想定正会員数:623名をオーバーしています。
- ・会のドメインを取得し、平成18年1月1日付けで、ホームページ委員会の方々の大変なご協力により、素晴らしいホームページに更新されました。インターネットに接続してご覧下さい。
- ・会のドメインは「@minaminokai.com」(南の会ドットコム)で、Eメールアドレスとして、会員ならば有料ですが取得出来ます。これからアドレスを取得される方は是非ご検討下さい。
- ・理事会は、現在冬季と夏季は開催しないことにしております。理由は、理事でも皆様と同じ会費を拠出した正会員です。正会員は南国暮らし思考の方ですので、せめてこの時期には南国でエンジョイしようと言う事です。
- ・理事会の部会は従来5部会でしたが、6部会にして業務の円滑運営を図るようにしました。広報・会員部会を広報部会(広報委員会、ホームページ委員会)と会員部会(会員担当委員会、メール委員会)に分割しました。これ

により部会、委員会の円滑な運営が行われる様になり、皆様への情報伝達等も円滑に行われます。 乞うご期待!

皆様も呼び掛けに対し、ご協力の程宜しくお願い致します。

- ・スカイプ(パソコンで世界中何処でも無料でインターネット電話が出来る。)の普及により会員相互の情報交換が盛んになっています。回線がADSL以上でないと会話が途切れる難点があります。が、一応の会話は出来ます。無料電話と言っても、お互いの時間の使い方は人夫々ですので、常識の範囲内で、相手の都合を聞いてから、会話をすすめて欲しいものです。

*本会の将来への希望(理事長の個人的提言)

- ・団塊世代(約800万人)のリタイア組を迎えるには色々な体制を整える必要があります。1,000人に1人入会されても8,000人の方が入会される勘定になります。これは正に嬉しい悲鳴となること必定です。
 - ・会員全員がパソコンを使えるように出来ないか検討したい。本会は南国で暮らそうという会です。それには通信手段が必須条件です。パソコンを使えると、メールは無理でもスカイプならば利用出来ます。各支部で地域で泊り込みサロンでも開き、せめてスカイプだけでも利用出来る様にならぬかと思っております。新しい世界が拓けること請け合いです。
 - ・本会員は年金で、国に老後を託すことなく、自分の力で楽しく暮らす場を開拓できる集いになれば素晴らしい・・・それが出来るのは南国暮らしの会であろうと思っております。
 - ・錆びたシルバーではなく、輝くプラチナとして、自分自身及び年金を使える世代が我々だと信じております。
 - ・我々会員は現在日本人の内でもごく少数の個性豊かな人の集いです。その変った人の集いが、これから如何に親睦を旨として生きていけるか。その手段は
 - 完璧な人間はこの世には存在しない。
 - 他人の生き方、生活に干渉しない。
 - 他人(ひと)の振り見て、我が振り直せ。究極は、これからの人生を楽しく、自分で誇りが持てる生き方をしたいものです。
- 平成18年は皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念しております。

新年のご挨拶

北海道支部長 No. 625 工藤 俊一

全国の南国暮らしの皆さん今年もよろしく
願い申し上げます。

この原稿書いているときの北海道は、初雪も降
り冬支度に追われる季節です。

昔の北海道は冬支度のためいろいろな準備が
ありました。その第一はなんといっても寒い、
しばれる（凍りつくような寒さをいいます）冬
に備えて石炭、薪等のストーブでたく燃料の用
意が一番先に思い起こされます。

どの家庭にも、石炭庫と呼ばれる物置がありま
したし、まきを軒先に積み重ねるスペースも用
意されていました。

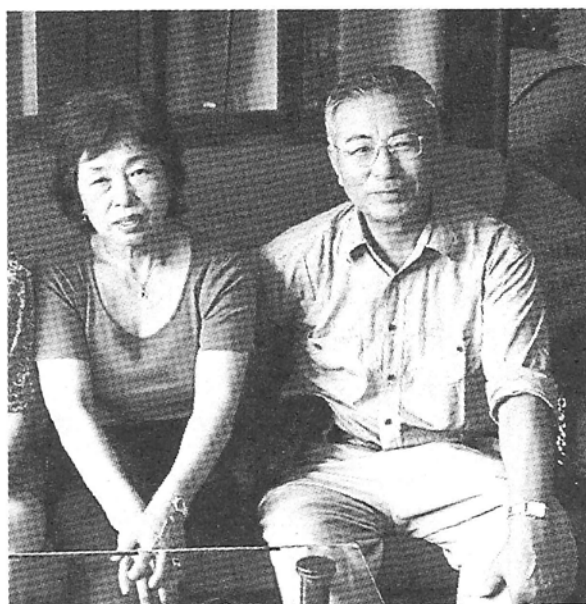
私の家は石炭をたいていましたので、荷馬車
や、小型三輪自動車で運ばれ、家も前に山積み
になった石炭を、せっせと石炭庫に運び入れる
のが、親父や、子供たちの役目でした。

また薪ストーブを炊いていた所は、太い原木を
4つ割、5つ割りにして、ストーブにくべやすく、
燃えやすい大きさに割る作業が、何日も続いた
ものでした。

もちろん今はそんな家庭を見ることは全くと
いてないほど、石油、電気等の暖房が主流に
なりました。そのお陰で、一週間に一度はしな
ければならなかった、円筒掃除なる作業もまっ
たく不必要になりました。最も今は、よほどの
山の中でもなければ、すすの処理、石炭ガラや
灰の処理に困ることになります。

昔は家も前の道路に敷いたりして、その処理
に困ることはまったくありませんでしたが、舗
装され、コンクリートで固められた現状では、
燃えないごみとして、処理するしか方法があり
ません。ましてや、円筒掃除なんかしてすすで
も飛ばすことになったら、隣近所に大迷惑をか
けることになりますね。

さてそんなことを考えながら、今の環境に感
謝しているところです。



北海道は冬は寒いのですが、家の中は真冬で
も24～5度、まったく寒くはありません。只今
年は異常に灯油が値上がりしていますので、暖
房はどの家庭でもかなり負担になると思います。
最も最近暖房も含めてオール電化の住宅が増
加してきておりますが、電気代といえども石油
が上がれば連鎖反応で、値上がりすることが考
えられますので安心は出来ないと思います。
さてそんな北海道ですが、やっぱり冬の寒間
だけでも、北海道を脱出して南の温かい国で過
ごしたい。年金でもある程度豊かに暮らせる国
に滞在したいという方々が、大変多くなってき
ました。

北海道支部関係者も、口コミ、TV放映、イ
ンターネットからいろいろな伝手で入会して
くる方が増えてきました。まもなく40組を超
える会員さんになるのは、すぐそこまで来てい
ます。

只、北海道は、北から南、東から西と非常に広
範囲で、飛行機でも日帰りは時間の関係で忙し
い、という条件もあり顔をあわせての会合はせ
いぜい年3から4回が限度という状態です。
また会員さんもほとんどが札幌在住という方々
が多く、どうしても集まる場所は札幌に限定さ
れてしまいます。しかしそのような中でも情報
交換会を行いますと常に30組を超える会員さん
が集まります。まさに和気藹々、お互いの情報

を交換したり、滞在した経験談を披露したり、そんな中でいろいろと夢を実現している会員さん方が、増えてきました。

今年は、入会間もない会員さんですが、マニラに、ビザをとって犬を連れて長期滞在をするという話が、情報交換会の中で、突然出てきて、出席した会員一同びっくりいたしました。是非とも何事もなく無事にいけばいいなと、みんなで激励しました。今後の滞在報告が楽しみです。

また、南国MLを同じように、ヤフーに北海道専用のMLを作成しました。希望の北海道会員さんを全員登録して、外部からは入れない、見れない、書けない設定にして、従来使っていたオープン北海道掲示板を閉鎖することにしました。オープンにするいい点と同時に、最近出会い系の書き込みが多く管理に大変苦労した経緯があり、今回思い切って、従来の掲示板を閉鎖、新設に踏み切りました。

北海道掲示板は会員だけの掲示板ということで、私信、写真のアップ、添付ファイルの許可等機能をすべて使える設定にしています。但し、一番心配なのはウイルスなので、この点の対策ソフトは必ず会員さんのパソコンにインストールすることを条件にしております。いまのところまだROMの会員さんが多いのですが、そのうち楽しい沢山の書き込みで賑わうことを期待しています。

もちろん、会員さんには全国MLに発信した方がいい内容は、そちらの方にも発信するようお願いしてありますので、従来どおり南国MLにも発信させていただき、有用な情報は読ませてもらいたいと思います。

※登別地方一口情報

さて一口情報をということなので登別地方の紹介を少しさせていただきます。

ご承知のように登別市は洞爺支笏国立公園に属し洞爺湖、登別、支笏湖等の全国的に有名な温泉地があります。洞爺湖は、年中その湖の美しさを求めて全国から観光客が押し寄せます。

札幌駅から洞爺湖駅まで特急で約1時間10分。

洞爺湖駅から、洞爺湖温泉まで車で20分の距離にあります。この温泉最近手湯、足湯が新しく8箇所ほど出来ました。雄大な湖面を眺めながらの、手湯足湯めぐりも面白いと思います。

もちろん豪華絢爛なホテルから格安ホテルまで色々ありますので、宿泊してゆっくりくつろぐのもいいかと思います。インターネットで検索すると、高級ホテルでも以外に安く泊まれるホテルがありますよ。

又登別温泉は、全国一の湯の種類を誇るだけあって高級ホテルが軒並みあります。又、地獄谷をいうところでは、直接地面から湯気が噴出しているところや、間欠泉等を身近に見ることが出来ます。

秋は付近の紅葉がきれいで、一見の価値はあります。お子様や、お孫さんの喜びそうな、熊牧場（ヒグマが放し飼いになっている）や、江戸時代村、デンマークのイーエスコー城をモデルに作られたマリパークニクス（水族館）など見所も沢山あります。

知る人は知っていますが登別市民に人気の回転寿司もあります。ネタが新鮮、ネタも大きい、何よりも値段が安く味がいい。ということでこのお寿司屋さんいつ行っても順番待ちです。待っても食べる価値はあります。一皿120円高いのは250円。この2種類しかありません。もちろんこの値段でほとんどのネタを食べることが出来ます。（さすが、大トロ、アワビはありません）。一人3,000円あれば十分というところがいいですね。



室蘭港（白鳥大橋）

登別の隣の室蘭市。ここには観光道路という断崖絶壁上を周回する道路があります。青い海切り立つ断崖。白い灯台、地平線が丸く見える地球岬など、すばらしい展望が望める観光道路からの展望はお勧めです。香港に次ぐ夜景の名所として函館山からの展望がありますが、室蘭の観光道路からの夜景は隠れた名所です。まだまだ紹介したいところ沢山ありますが、北海道登別地方を訪れる時はご一報ください。見所、食べどころ色々紹介できると思います。

さて、色々当地の紹介までいたしました、今年も南国暮らしの会が、情報交換を通して有意義で、益々楽しい会に成長発展することを祈念し、新年のご挨拶といたします。

東北支部より

東北支部長 No.218 和田 隆

会員としては古い方になりました。なので「南の会」の良い面も、残念ながら悪い面も見えるようになりました。良い面は伸ばし、悪い面を改めれば良いのですが、会員数が多くなると色々な価値観を持つ人が入会してくるし、「南の会」に期待する内容自体が多様化してくるので、色々問題等表面化するのはある程度は仕方が無いことだと思っています。それにしても、本部あるいは支部の役員の方は全くの無報酬いわばボランティアで自分の時間とエネルギーを割いて会のために奉仕してくださっているわけでどういふ方々に対して感謝の心は何時までも持ち続けたいと思います。

さて、ともあれリタイアして3年が過ぎ、無職・無収入（ささやかに年金収入はありますが）の現在の生活に一定のリズムが出来てきたように思います。リタイア直後こそは自分の能力（体力・気力・財力）の見極めが十分でなく、思いつきだけであることに挑戦しては挫折をす

るといふ経験をしました。そのあることとは、「パラグライダー」でした。大空を自由に滑空する魅力は捨てがたいものでしたが、怪我をして、ライセンスも取れずに撤退を余儀なくされました。でも今でも大空を飛ばたく夢は捨てきれず、「キャノピー」といふ飛ぶための道具（羽）は持っています。単独で飛ぶ夢は無理かもしれませんが、「タンデム」（ライセンスを持ったベテランとの2人乗り）で楽しむことは可能だと思います。

その後、腰を落ちつけて考えた結果、現在は、卓球・合唱・水彩画・ウォーキング・国内外旅行など年齢や能力にあった？ものに落ち着きました。特に卓球は「昔とった杵柄」で、自分達（卓球同好会）で週2回楽しむ以外に、地域の公民館や小学校から頼まれて小学生を月に2、3回教えています。まあ、ボランティアの真似事みたいなものです。他の趣味は、まさに「下手の横好き」の典型です。

さて、「東北支部」ですが地域が広く、会員数も少ないのですが、実力にあった活動をしています。年1回の総会とサロン会、特に今年は青森ネブタと五所川原のたちネブタ見学を兼ねて、青森市で実施しました。場所が遠かったせいもあって参加者は少なかったのですが、2つの豪快なネブタを堪能しました。



17年度東北支部総会兼研修旅行

さて、昨年バリ島、前年タイ、その前ロタ島

と、毎年一回くらいずつ海外旅行を楽しんでいます。LSにはまだ至っていませんがリタイア後の人生を自分なりに楽しみたいと思います。

新年のご挨拶

関東支部長 No. 163 宮崎 哲郎

皆様明けましておめでとう御座います。

昨年関東支部では色々な事が起こり、荒れた総会の後遺症で入会会員が大幅に減り一時はどうなることかと憂慮しましたがお陰様で後半になり少し良くなりホット致しました。

今年はそのような事が無く皆さんにとっても会にとってもハッピーな年となる様になればと切望いたします。

さて総括的には支部の最も大事な活動は毎月開催の「サロン会」です。これの充実が会の「活性化」とベテラン会員、新しい会員双方の方々の、「満足度」を十分にするか否かを左右するものと思います。

そのためには常に「新しく」皆さんに「役に立つ」情報の提供にあります、そしてもう一つ常に「楽しい会」であらねばならないと思いますのでこのことを念頭にサロンの運営をしていく様心がける積りです。

最近他のロングステイサークルからの入会者が増えて参りましたが其の方々の入会理由は「南の会」の「豊富な情報量」と「サロン会、懇親会の雰囲気良さ」を上げられています。このことから私どもの行き方が間違っていない事の証しだと思います。

関東支部のサロン会は平均して約75～80名の方が毎月参加され半分が常連のベテラン会員で新しく入られた方々の参加が半分以上を占めます。この新入会員の方々が今後継続していただく事が大変大事なことです。そのためには先ず「楽しい」と感ずる雰囲気をお作りし会に「入って良かった」と一歩進んだ気持ちになる様にしていく事が必要ではないかと考えます。

そのための雰囲気作りとして、ベテランの会員が先輩として新しい会員の方に接して頂く様にお願ひしたいと思います。

右も左も分からず不安をもって参加されているのが普通です、そこでベテラン会員が一言声を掛けて頂ければ、不安も解消し同じ目的意識をもった者同士話が弾むことになると思います。またサロンを運営する事務局と云っても現在はわずかなメンバーでお世話しておりますので今年は「サロン会運営メンバー」を増やし以上のような活動をもっと積極的に、そして昨年実施の「温泉旅行」、その他の新しい企画作りをして、前述の「満足度」を上げる様にしたいと思いますので皆様のご協力を切にお願ひしたいと思います。そのために運営メンバーにボランティアを募集しますのでご協力を頂ける方が居られましたら是非とも応募していただくようお願い致します。

更に関東支部は広域な地域で人数も全会員の半分を占める支部です、従って距離的にサロン会へ中々出席できない地区の方々が居られますので、この方々が便利な場所において地区会の開催をする様な活動も計画しております。こうする事によって「受益サービスの均一化」に少しでも役に立てればと思います。

以上の決意やお願いを申し上げて本年のご挨拶と致します。

皆様にとって良い年であります様心からお祈り致します。 以上

寄付金のお知らせ

次の方々より当会に寄付がありました。
有り難うございました。

NO. 18 木村 義光様 30万円
NO. 24 酒匂 景輝様 1万円

酒匂理事長

南国暮らし、私の場合は？

東海支部長 No. 487 横井 保夫

2006年が明けました。

オメデトウございます。昨年中は皆様（南の会理事の皆様、東海支部の皆様 チェンマイ支部の皆様 国内外各地で出会った各支部の皆様）には大変お世話になり、大変有難うございました。本年も相変わらず、よろしくお願い申し上げます。

2002年の春、南国暮らしの会に入って、まだ間もない頃、東京の総会に出席された445山本信様から、池田理事長から東海支部を発足させるべしとの号令がかかったとの話が持ち込まれ、山本様に南の会の会員名簿から東海地区の皆様をピックアップし、電話連絡の上集まったのが12名だったと思います。

名古屋駅前のデートの待ち合わせ場所として有名なナナちゃん人形の足元でした。集まった中で一番年上の私が、暫定的に東海支部長をやれと言うことで、その時は気楽な気持ちでお引き受けをしてしまったのが、運のつきでした。早いもので、あれからもう3年半が経過、東海地区のメンバーは2005年11月末現在89名（ご家族を入れたら百数十名）に膨れ上がりました。

何をしたら皆様に、“南の会に入ってよかった”と思ってもらえるのが私に課せられた最大の宿題であると肝に銘じました。

といっても、暗中模索、私に出来ることといたら、現役中に暮らした東南アジア3カ国（タイ、インド、インドネシア）延べ24年の間に身につけてしまった現地語と現地生活習慣を皆様に役立てて貰うことぐらいしかありませんでした。

それなら、生来の気楽な性格をそのままの地で行けると思いました。

私の南国暮らしは1972年5月灼熱のバンコックドンムアン空港に降り立った時に始まったのでした。もう34年も前のことです。当時タイ語をしゃべれなければ仕事と生活が成り立たなかったので、当時のタイ華僑向けタイ語放送のアナウンサーをやっていた中国系タイ人のおばあちゃん先生についてタイ語の特訓が始まりました。週2回会社に行く前1時間先生とつばが掛かる近さで顔を突き合わせ正しい発音が出来るまで特訓されました。

その頃覚えた発音は私の今のタイ語の原型となっております。今チェンマイで出会うタイの学生から横井のタイ語は中国系のタイ人が使う発音であると聞かされ、34年前に身につけた発音そのものが変わっていないことに驚かされました。“よし、これをやろう”、2003年春に東海支部サロン会でタイ語会話の練習を3回に亘り入れました。なぜなら当時当支部で一番人気の希望ロングステイ先がチェンマイであったので、出来たことでした。多分タイには興味の無い方にはご不満であったと思います。どうも済みませんでした。2004年始めには当時の東海支部の半数にもものぼる23名の方がチェンマイに体験ステイに行かれました。“教えてもらったタイ語が通じた”と喜んでおられた方の言葉で、結果OKだった、私も役に立ったことが嬉しかったです。

これがきっかけとなって、その後東海支部独特の“この指とまれ方式”で、チェンマイ、ペナン、キャメロン、KL、バギオ、ダバオ、バリ、コタキナバル、クチン等への支部企画による体験ツアーを繰り返し実施して今日に至っております。

一緒に旅をすると皆仲良しになります。東海支部の皆さんは本当に和気あいあいの仲良しグループに発展いたしました。私も楽しく体験ツアーにはできるだけ参加してまいりました。

東海支部を支え発展させてきたもっとも大きな要因は東海支部役員の皆様の結束と実行力ではないでしょうか？副支部長の094高橋昭様は南の会の全国ブランドとも言える豊富な経験

と知識の人で、特に女性会員に人気が高く包容力あふれる人柄です。又ブルガリヤの専門家です。

もう一人の副支部長554笠井幸司様は8千メートル級の山々を踏破してきた強靱な体力と、学者のような幅広い専門的知識の持ち主で例会サロン会を大学のゼミナールの雰囲気に変えてしまう人です。特にマレーシアのことならあらゆる視点から研究し尽くされており、近くマレーシアにロングステイを計画されております。できれば東海支部にとどまっていたきたい人です。運営部長の445山本信様は東海支部発足させた原張本人で、会計部長も兼務しサロン会費集金/支払いや本部補助金の使途を監視する大蔵省でこの方が首を振らねば東海支部は立ち行きません。

総務部長の570山田善一様は言わずと知れた全国ブランド、東海支部会員の動向をアップデートにバッチリ掴んで、サロン会、例会、入退会、海外お出掛け状況の管理は完璧です。英語はオーストラリアの学校での事務局長の経験から東海支部の会員からも“英会話教えて”との声がかかる本格派です。支部のメーリングリスト管理もお願いしております。

催事担当643鈴木憲介様 といったら、あの万博情報でメーリングリスト読者の皆様とは皆友達になってしまったと思わせるまさに地球規模暮らしの会に入ってしまった御仁。来年2月にはサモア美人の奥様が待つNZに旅立つ予定です。“行くのをやめて”と言う奥様方の声を振り切って。

催事担当749山本義典様例会サロン会の記録とメーリングリストへの寄稿で、この方も全国ブランドです。例会サロン会ではニコニコして話を聞きながらもペンを持った手の早さは速記報道記者みたいで一句もらさず記録されております。録音機不要の実力はさすが現役高級公務員。4月にはペナンにてロングステイをはじめるとは、残された東海支部はどうしたらいいのでしょうか。この方がいなくなると困ります。

催事担当081足立ひろ子様。東海支部平日サロン会を一手引き受けてサロン会出勤率100%。

サロン会の雰囲気明るくし、存在感抜群の美しく聡明な、かつては交通巡査として名古屋市中区中心街で交通違反取締りを担当され、コワーイ兄さん達にも一目置かれてました。

総務補佐541清水重一様。まだ多忙な仕事人間にもかかわらず将来のロングステイに備えて着々と足固めをされており、山田善一様が海外に滞在中の留守を預かってサロン会、例会の司会役を気持ちよく引き受けて貰っています。

会計補佐549松本美代子様。

多忙な会計担当山本信様を補佐、山本大蔵省の監視役でもあります。元高級公務員。現在世界一周の豪華客クルージング中。近い将来ペナンに移住を画策中ですが、東海支部のマドンナの存在ですので“余り急いで行かないで欲しい”と皆が思っていることがお解かりでしょうか。以上が東海支部役員のラインですが、以下有能なスタッフを取り揃えております。

それが地区長さんたちです。各地区の取りまとめ、パソコンでのメールをやらない方達に電話、手紙での連絡を担当されておられます。

名古屋北地区長571西口敏弘様。

奥様共々フィリッピンはバギオにはまっておられます。大の猫好きで、奥様と入れ替わりで海外に出かける必要があるのが悩みの種。

名古屋南地区長530浅野光利様。多才です。東海支部ゴルフ指南で、国内外で教えを請うている人が多い。又海にもぐれば鮫に出会わねば寂しいとぼやくほどの本格的ダイバー。

名古屋南地区長補佐556酒井靖夫様。

体験ステイはチェンマイ、中国のリピーター。ロングホールは2オンを狙う超ロングヒッター。

愛知県地区長補佐208小林明弘様。

地区長山本様の海外滞在中のまとめ役。

岐阜県地区長584岸祥介様。奥様のケイ子様と手を携えてチェンマイ、ペナン、キャメロンと体験ステイ。風光明媚な木曾川近くの自然豊かな環境にお住まいながら、寒さ逃れの渡り鳥南国暮らしが希望。ゴルフはお二人とも元はシングルだった？と聞かれる腕前。

三重県地区長563松井忠一様。奥様の己和子とは、生まれ変わっても結婚を約されておる熱々

のカップルながら不思議なことに余り一緒には海外には行かれませんが、奥様がチェンマイなら旦那さんはバギオファン。多分手分けをしてロングステイ先を物色されているのでしょうか。

三重県地区長補佐155宇井泰業様。チェンマイ大好きな万年青年、ゴルフの飛距離も若武者を思わせるものがありますが、このところ腰痛に悩まされ、早い原隊復帰が望まれております。

以上、役員と皆々様で1人1人が各々の役割を受け持っていて、いわば支部会員全員で、支部長をやっていて来た様に思います。

さて、南国暮らしの会で目指すロングステイのメリットと言え一般的には、生活のしやすい南の国に一定期間暮らすことを意味します。生活しやすいとは、生活環境が日本に居るよりもベターであることです。すなわち、

- (1) 日本の寒さ暑さを逃れて、快適な気候をエンジョイできること。
- (2) 衣食住が整備され、生活費がよりやすいこと、食べ物が口にあって安く安全であること。
- (3) ゴルフ、釣り、ダイビングなどの趣味にかけられる環境が整っていること。
- (4) 医療設備が整っていること。
- (5) 現地での異国の生活体験が出来ること。
- (6) ストレスから開放された生活が出来ること。
- (7) 治安がよいこと。

等などがあげられます。

特に、せっかくのチャンスなので現地の人々と親交を深めることを大切にしたいと思えます。

言葉の壁は余り意識せず、言葉は後から付いてくるものと気軽に（ストレスにならないように）考えておけばよいでしょう。

さて本題の“南国暮らし、私の場合？”について。

私はいわゆる定年後のロングステイの経験は

ありませんので、皆様のお考えになっている上記諸条件を満たす定年後の快適なロングステイの経験談を話す資格はありません。私の場合は2001年9月に退職する前の現役時代と、引退後で分けてお話をする必要があります。

引退後では、1～2ヶ月の渡り鳥式ショートステイの繰り返しだけです。ロングステイは現状ペットの世話というネックがあって困難な状況です。

それゆえ南国暮らしの体験談となるとどうしても商社マンしていた現役時代の体験談になってしまいますことお許しください。

バンコック5年、ボンベイ5年、ジャカルタ5年の商社マン時代とジャカルタ現地企業9年、合計24年が南国暮らしでありました。この24年は私の性格にはピッタリの国々での生活でした。元々丑年5月生まれのおうし座、かつ血液O型ですから南国の生活適応性があったと思います。

バンコックでの“マイペンライ”との出会いです。インドネシアでは“ティダアパアパ”が、インドでは“ノープロブレム”が同じような時に使われます。日本語にすればどれも気にしない、心配するな、どういたしまして、大丈夫、という意味です。

バンコックに赴任直後のことでした。ある日自動車を運転していて後ろから来た車に追突されました、その運転手が当然謝るかと思ったらニコニコしながら“マイペンライ”、又、ボンベイでは乗っていたタクシーのブレーキが突然利かなくなった時、その運転手曰く“ノープロブレム”と叫んでドアを開いて足で車を止めました。又ジャカルタでは、レストランで皿のスープの中にハエが泳いでいたことがありました。ウェイターを呼びつけ取替えを頼んだ所、“ティダアパアパ”と喋ってスプーンでハエをすくい出しました。

ところが、そのような環境に暮らしていると、いつの間にか自分自身がマイペンライ的な性格に変えられていってしまっていることに気がついたのはもっと後のことでした。

逆に、こんなに良い言葉があったことで、色々なストレスから自分が救われることが多々あつ

たようです。19年前ジャカルタに単身赴任した時に入った社宅はかなり老朽化した建物でした。ゴキブリが出没するは、雨漏りは部屋の中でかさをさす必要があるほどひどく、床にたまった水溜りには蛙がゲロゲロ、それは風流なものでした。ウインドウ式のエアコンのうなりは飛行機の爆音に似て、大変な社宅でしたが、こんな生活がなぜか楽しい思い出となっております。ジャカルタ生活で忘れられないことは、会社がつけてくれる運転手と女中との毎日の係わり合いです。運転手運と女中運といいますが、私は大変運が悪かったようです。ガソリン代をごまかす、カバンの中からお金は抜き取る、仕事に酒は飲む、自動車のダッシュボードを売ってしまった。などでジャカルタ駐在13年中変わった運転手は10人以上。当然次から次に運転手を変えざるを得なかった。

また女中さんにも色々ありました。普通は2名で1人は飯炊き女中で食材求め料理1人は洗濯、掃除、食器洗いなどで、給料も飯炊きのほうが上で家の中を取り仕切って威張っていたものでした。バンコック時代は姉妹で雇っていましたが、飯炊きの姉の方の旦那は家庭用自動車の運転手でした。幼い子供も一緒に私の家族6人と合わせて9人が一緒に住んでいました。子供の学校の送り迎えはこの運転手の大切な仕事でした。今思えば一番まじめで頼りがいのある良い運転手でした。

長男（小5～中2）を伴って2人暮らしのボンベイ時代は女中ならぬ男中さんで、飯炊きのほうは立派なひげの大男で日本料理を得意としていました。すしでもラーメンでもカレーライスでも現地の材料で作ってしまう器用な男でした。もう一人は心優しい子供好きの端正な哲学者のような顔をした男中さんでしたが、私が帰国後若くして亡くなりました。2人ともヒンズー教徒が多いボンベイでは珍しいまじめなクリスチャンの男中でしたが、カーストが低く悟った顔が印象的でした。

この頃は仕事も家庭もインド英語の中での生活でしたので、それ以来私の英語はインド英語

で固まってしまったようです。英語で生活が出来たので、ヒンドゥー語は余り勉強しませんでした。やはり言葉は必要に迫られないとだめです。

ジャカルタが一番長い南国暮らしでした。インドネシア語の先生はインドネシア大学の英文課の女子大生で、英語を通じてのインドネシア語の勉強は同時に英会話の勉強にもなりました。宿題を仕事にかこつけてやっていないと、涙するようなやさしい先生で、すまないことをしたと後になって思ったものです。当時100人の内数人しか大学に行けなかったインドネシアで、東大にも当る、インドネシア大学を卒業しても縁故が無ければ就職口が見つからない時代でしたが、合弁会社に就職を斡旋して、大変喜ばれ、インドネシア語を教えていただいた恩返しをいたしました。住んでいた社宅は色々変わりました。それなりに楽しかったのですが、女中どもがワルで、部屋の掃除にかこつけてお金や物がなくなりました。多少のことは住民税だと思って大目に見ていました。男物の下着や靴下がよく狙われました。旦那さんのためやボーイフレンドのためだったのでしょう、傑作なのはある日、女中の幼い子供が縄跳びをして遊んでいましたが飛ぶたびに見え隠れ見えしたのは紛れも無い私のブリーフパンツでした。

お客様からいただいたウイスキーがいつの間にか水割りに、それもだんだんと薄くなってゆきました。蜂蜜やシャンプーも同様だんだん水割りになってゆきました。女中に問い詰めると、その屋敷には幽霊が住み着いているから、幽霊の仕業だろうと言う。鍵のかかるアタッシュの中のお金が姿を消した時も幽霊のせいとされた。ジャカルタの幽霊は地上30センチの所を壁でもドアでも通りぬけることが出来、後ろから見ると背中に空洞があるという。生存中に欲しかった物を盗みに来るとの説明であった。

日本の会社を55歳で早期退職を願い出て現地企業に再就職したのは1992年9月でした。ここに2001年6月リタイアするまで9年近くも、2度目のインドネシアでの生活がありました。

当然とはいえ、会議から商談まで全て早いインドネシア語で、苦勞しましたが、マイペンライ、ティダアパアパでストレスと戦っている内に、いつの間にか現地スタッフのインドネシア語に少しずつ仲間に入れてもらえるようになってゆきました。それ以降は毎日が楽しくなってゆきました。何事もあきらめずにやればおのずと道が開けていった55歳の時でした。

会社が与えてくれた社宅は何度か変わりましたが一番永く入っていたのはポンドックインダと言う高級住宅街にあるゲストハウスの一部屋でした。一見優雅でしたが、前述したような運転手と女中との葛藤が悩みの種ではありました。子供を高校や大学に入れる学費、中部ジャワにおいてある旦那と子供の衣服代、をバントウ（くれ）、ピンジャム（貸してくれ）したいと事あるごとに頼まれて、根負けしていっぺんあげたり貸したりしたらそれが既得権となって又後から後から言ってくるのでした。5人も6人も、1ダースも子供が居るから大変です。

一握りの金持ちの華僑と、華僑と結びついた役人、大企業に勤める人達10%が90%の富を持ち、残り90%の低所得者（納税負担不要層）が10%の富を分かち合って暮らしている国です。

貧富の差が大きいだけでなく、貧貧？の差が大きな社会構造の中、お金を無心する人達を嫌ったり憎んだりすることが出来ませんでした。

インドネシアには“サヤン”と云う言葉がありますが、私には小さなうそを付いたり、小金を取ったり、幽霊のせいにしてまでも私の物を使ったり持ち出したりする人達が“サヤン”で仕方ありません。“かわいいあの子は誰のもの”の歌に出てくる“ラサ、サヤンゲン”のサヤンです。

“サヤン”の正確な日本語訳にはいまだ出会ったことがありません。最近気が付いたのですが、孫をかわいいと思うジージ、バーバのような気持ちが一番ぴったりの“サヤン”の訳語でしょうか。

それほど、インドネシアにはまってしまった私でした。その辺が私の南国暮らしの原点になっ

ているようです。

仕事人間、モーレツ人間と言われた時代に、それなりに一生懸命働きました。南国暮らしの中で、泥臭く人間臭いプライベートな時間はかえって楽しいものでした。

以上

（南国暮らしの期間が長かったのでちぐはぐな氷山の一角しかお話できません、面白くほろ苦い経験談、失敗談は他にも一杯あります。又折がありましたら聞いてください。）

“渡り鳥ライフ” 4年目を迎えて

甲信越部長 No. 96 宮澤 英光・幸子

新春にあたり会員皆様のみすますのご活躍と幸多からん事を心より祈念申し上げます。

当甲信越支部も年々少しずつ会員数も増えてきていますが、まだまだ小さい支部です。5県に跨る大変広い地域のため、交通事情なども重なって、なかなか活動も思うに任せないのが実情です。ここ数年は情報交換会と親睦会を兼ねて、5～6月頃、新緑の大変美しい時期に、信州のリゾート地で1泊して会合を開いています。理事の方にも出席を頂き、大変有意義でまた楽しいひと時を過ごしています。支部会員でまだ参加されていない方々には、今後は是非出席頂き、交流の輪が広がって行かればと考えています。

さて、私ごとになりますが、タイ国チェンマイ市にロングステイを始めて、4年目を迎えました。そんな折、会報担当理事より原稿依頼も有りましてので拙文で恐縮ですが、雑感を少々書かせていただきます。

<4年目の渡り鳥ライフ>

リタイア後“生き生きライフ”をどのように実現してゆくかを考え始めたのが、丁度10年程前であったと思います。時間に追われる毎日の生活の中で、あれこれ思案を巡らせていた時、ある雑誌記事に目が留まりました。それは海外でのロングステイを扱った内容でした。それがきっかけとなり、“信州の寒い時期を、暖かい南国で過ごしたい”との夫婦の夢を実現しようと、情報集めやステイ先探しの旅がスタートしました。フィリピン、マレーシア、シンガポール、タイ国などの何箇所かを尋ねた結果、現在滞在中のチェンマイ市が、私達にとっては一番条件に叶う所でした。

定年を待ちきれずに、1年早めに仕事を辞し、実行に移して早くも4年目を迎えています。計画を立て始めた段階から“渡り鳥ライフ”を目指していました。寒い時期は暖かい国で、新緑の頃から秋口までは、過ごしやすい信州でと、正しく渡り鳥になることでした。今ではだいたい半年毎に信州とチェンマイ市を往復しています。なんとと言っても年間を通して、活動的かつ新鮮な感じで、それぞれの地で過ごすことが出来ることは大変有難いことだと思っています。

異文化を楽しみ、日々新たな発見や、色々な刺激に驚き、また人々との出会いが数多くあり、本当に楽しく生活させて頂いています。特に多くの方々と知り合いになり、更に親交させて頂ける友人を何人か得られたことは、本当に幸せなことだと感謝しています。また、半年サイクルで生活する様になって、生活面で目標が具体的に持て、張りつけはじめが付けられ、大変良いリズムで、充実した時間を過ごせる事も、有難いと思っています。

夫婦共に健康で過ごせる時間は、そう長くは期待できないことを思えば、心身ともに自信の持てる時期に、実行し得たことは本当に良かったと思っています。今後色々な夢を更に膨らませながら、多様な素晴らしい人々に巡り合い、健康で、“生き生きライフ”を続けていかねば、これに勝る幸せは無いと思っています。

最後に会員皆様のご健勝で、益々ご活躍される事をお祈りしながら、筆を置かせていただきます。



支部情報交換会

謹賀新年

関西支部長 No. 147 三谷 昌鴻

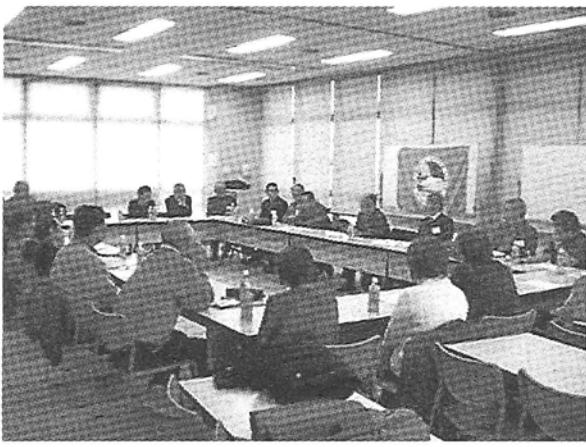
「南国暮らしの会」のあり方について最近考えていることを披露して年賀と致します。

「南国暮らしの会」の合言葉は「自己責任」と「情報の授受」にあると思われませんが、このことを見直すべき時期ではないかと考える次第です。

「自己責任」はこのままでよいのですが、「情報の授受」が問題ではないでしょうか。新しい会員の方々は多くの情報を求められますが、古い会員の方々はすでに南国暮らしを経験されていて情報のニーズは、それほど多くないように見受けられます。それに、インターネットを見ればいろんな情報があり、ホームページとかメルマガに読みきれないほどの情報が流れています。

「南国暮らしの会」の会員それぞれ求める情報の授受が異なる（程度の違いでも）のが、「南国暮らしの会」活動のマンネリ化に続くおそれがあるのではと考えています。

そのうえ、「情報の授受」に対する真剣さが



例会風景

違います。かつての「南国暮らしの会」には老後の生活が掛かっていました。昨今の「南国暮らしの会」には楽しい時間が求められているに過ぎないのではないのでしょうか。

私が「南国暮らしの会」に入会したとき、すなわち、会社を定年リタイヤしたときは、真剣でもっと切羽詰まったものでした。その結果フィリピン一本になったのです。間違ってもハワイと云う名前は出なかった筈です。新しい会員の方々は不思議に思われるでしょう。

もし、「南国暮らしの会」が「定年リタイヤ後を暖かい南の国でゴルフでもして楽しく過ごしましょう」と云うのであれば多分入会しなかったと思います。

最近の風潮を見て思うことは、「暖かくて年金もしくは多くない預貯金で、日本に居よりは楽しい時間が過ごせればよい」のであって、そのために「南国暮らしの会」があるのだと思って居られる会員が多いようです。

新聞の記事を見ても、テレビの画像を見てもほとんどは廉価な物価（生活費）とまた廉価なレジャー費が主題で、日本より安くて楽しくて豪華な時間を過ごしている情報が入ってきています。

日本であれば3DK程度のマンションにしか住めないのに、南の国では日本から訪ねて来る人を泊めるために余裕のある3～5ベッドルームの戸建とかコンドミニウムに住んでいて、お金を考えずに毎日でも出来るゴルフなのです。

「南国暮らしの会」の立ち上がった当初の会に求めたのはそんなに軽々しい気持ちではなかったのです。

しかし、世の中は変わるのです。良し悪しは別にして変わったのです。

「南国暮らしの会」の方々にとって一番の変わったものは介護保険でしょう。介護保険のない時代の老後はすべてが「自己責任」でした。

法律では子が親の面倒をみる義務があるようですが、これを期待する親は居ないようです。

親が子に養育してくれといった裁判は聞いたことがありません。子も親の面倒をみるつもりはさらさらなく、むしろ、親が死ぬまでパラサイトするようで、親は自分の死んだ後の子の生活を心配するぐらいです。

子の中には親が居なくなったときの生活費に不安がってケースも少なくないようです。

介護保険のないときに老後にはいった者の多くは、親の介護についてマイナーなイメージを持っています。そして、介護保険のある現在でも実際の施設に行ってみて下さい。照明は明るいですが、入居している人の顔は必ずしも明るくありません。

介護保険を利用すること、云ってみれば、衣食住に心配がなくても老後は明るいわけではないのです。

定年リタイヤしたときに介護保険のなかった時代の「南国暮らしの会」の方々が、どうしてフィリピンひとすじだったのが少しはお分かり頂けたでしょうか。

祖父母の時代は「養老院」と「生活保護」は云ってはならない禁句でした。「養老院」に入れられる（入るとは云いません）ことや、「生活保護」受ける（貰うとは云いません）ことは、暗いイメージを表したようです。

今は「養老院」の言葉を変えた介護施設に入れるのがなにか影の力のある家だと憶測されたり「生活保護」は貰っている人が羨ましい時代なのです。「養老院」介護施設も「生活保護」も国民の重大な権利なのです。

今でも、フィリピンは介護保険を使わずとも介護を受けられるところだと思っています。フィ

リピンで老後の介護については明るいイメージなのです。古い「南国暮らしの会」の会員の方々が身の丈に合った介護をフィリピンに求めたのは当然でしょう。

パートナーである妻があるいは夫が、海外での生活が嫌だと云っていて、意見が合わない会員さんが居ます。海外生活は遊びではないのです。十分話し合うべきでしょう。大事な老後が掛かっていることなのですから。

老後の趣味による楽しみが海外生活ではありません。人間一人で生まれて一人で死んで行くための避けては通れない定めです。お金の問題ではないのです。介護保険とか称して誰かの金儲けのネタにされてはいけません。

なにはともあれ、介護保険はうまく行って欲しいものです。古くからある国民年金保険とか国民健康保険とかはうまく行っているとは、どうなのでしょう。

フィリピンのローズプリンセスだって介護保険があれば成り立たなかったはずです。ローズプリンセスってなにと云ったのが新しい「南国暮らしの会」会員の方々の実情でしょう。世の中は変わっています。

云ってみれば、「南国暮らしの会」の会員の方々は老後の介護と云ったギリギリの選択ではなくて、楽しみの海外生活になっている訳でしょうし、老後の介護は介護保険のある日本で過ごそうとしっかりと思い込まれているのではないのでしょうか。そのことが悪いと云ってのではありません。

それはそれで、良し悪しを論じるのは適当ではないと思われま。

意識するしないにかかわらず、介護保険という一つの要素が加わったため状況がガラッと変わったのではないのでしょうか。

皆さん（「南国暮らしの会」の会員の方々のみでなく日本国民の方々）はお金持ちなのです。仕事がなければ失業保険、お金がなければ生活保護、体調が悪ければ健康保険、年を取れば年金、体が不自由になれば介護保険があるのです。大船に乗っているのです。大幅増税と云うこと

になっても税金逃れは考えないことです。七五三とか十五三一とか云われても泣き言を云うのをやめましょう。年金財政が破綻するとか云って保険金の支払いをやめている人は考え直すべきでしょう。

思いますに、日本も細々とかもかもしれませんが後100年位は保つのではないのでしょうか。

（云いすぎかも）

先ほどテレビで東京の秋葉原辺りの敷金、礼金の要らない狭いワンルームの賃貸マンションに入居する人たちの映像が流れました。マスコミは「日本の国民が貧乏である」ことをほうどうしたがりま。これは、視聴者が、読者が喜ぶからでしょう。

しかし、この狭いワンルームの賃貸マンション入居する人のほとんどは外国の人達でした。やっぱり、日本国民は、「南国暮らしの会」の会員の方々は、お金持ちなのです。

（終）

サワッデー ピーマイ （新年おめでとう）！

チェンマイ支部長 No. 558 伊沢 豊

今日は11月24日、只今帰国途中でバンコク発関空行きTG728便・ジャンボ機の機内。過日、本部の係りの方から新年号の原稿作成依頼を受けたのですが、その時点ではどうもその気になれず、一度辞退したのです。だがこうして機上の人となり、ドリンクサービスなど受け気分がハイになってくるとなんだか気が変わり、目下その気になりはじめています。

思えば私がチェンマイにやって来て早6年。「何がこんな所がよくて・・・」とよく人様に言われます。人の運命（さだめ）とは不思議なもので、かつて4～50歳代の頃には断然欧米志向、ハワイを手始めにアメリカ・カナダから



オーストラリア・ニュージーランドは言うにおよばず、ヨーロッパのほぼ全土とアフリカはモロッコまで漫遊したものでした。正直言ってあの頃アジアなんて目じゃなかったですなあ。それがこともあろうにこんな所に腰を据えることになるのは。そのいきさつを述べると長くなるのでやめますが・・・。

私は目下「南の会・当支部」だけでなく「CLL (チェンマイロングステイライフ) クラブ」という組織にも関わっている関係で、当地を訪れる大勢の方にお会いしております。その数は年々増えるばかりでその内容は観光・下見とさまざまですが、ロングステイ関係で特徴的なのは低年齢化が顕著で私どもには羨ましくもあるのですが、一面首をかしげるケースも多々見られるようになりました。

どういうことかと言いますと；

- ① 定年退職を待たずに、というより待てずにやってくる
- ② 中には日本の家・財産を処分してまで・・・
- ③ 生活費が安いからなんとかなるだろう、という甘い考えで
- ④ 下見もそこそこに、即ロングステイに入ろうとする
- ⑤ これからの長い年月、当地で何をして過ごしていくのかという目的意識もなく
- ⑥ 夫婦連れの方で、将来片方が倒れた場合どうするのかもあまり深く考えていない

※過日、当支部が発信している「チェンマイだ

より」でも触れた「Eさん夫妻の例」を皆さんお読みになったでしょうか・・・（長いロングステイの途中でご主人が突然病気に倒れ急遽帰国することに。

ところが日本の家は既に処分して今は無く、帰国後再び家を確保しなければならなくなった）・・・これほど深刻な問題はないでしょう。

じゃあそういう貴方（伊沢）は今後・将来にかけてどうするのか、と聞かれたらこう答えるでしょう；

美空ひばりの歌じゃありませんが・・・川の流れのように おだやかにこの身をまかせていたい・・・そしてこの身に変調の兆しが見えたら即帰国、祖国日本の懐にしかと抱かれない・・・と甚だ虫のいいことを考えております。まして当地で骨を埋めようなんてことはサラサラ考えていないし、考えたこともありません。

[完]

ペナン島より新年の御挨拶

ペナン支部長 No. 568 竹岡 孝志

新年明けましておめでとうございます。会員様及びその御家族の皆様の御健康と御多幸をペナン島より心からお祈り申し上げます。

さて、私達夫婦も海外移住（ペナン島）して早くも2年が過ぎました。この機会に私達の海外移住の体験談をお話したいと思えます。これから海外移住をお考えの方に少しでも参考になれば幸いと存じます。

まず私達が海外移住を思いついたのが、4～5年前のチェンマイに暮らす日本人のテレビ番組を観て、その中にリタイヤ組みの奥さん達の幸せそうな笑顔を拝見し、これはやらせでは無くて真実だと思えたのでした。私達も海外旅行ばかりでなく生活を考えてみようと相談がま

とまり、インターネットで毎晩調査し研究した結果行き着いた国がマレーシアでした。当然の下見旅行（個人旅行は初めて）をペナン・KL・コタキナバルの3ヶ所、そして一年後にペナン・キャメロン・KL・マラッカと視察を重ねて見て廻りました。その際は前ペナン支部長の木村御夫妻には大変お世話になりました。結局ペナンに決定して日本に帰りました。

日本の自宅は賃貸する積りでしたが管理などが面倒なので売却に変更して知合いの業者に依頼して出国（半年後に売却手続きに帰国）出発前の自営の会社（夫婦二人）の清算やら事務所と自宅の備品・家財家具の整理は想像以上に物が多くて大変でしたが、子供たちや友人、近所の方々には喜んで戴けたのではと思います。満60才の年金受給資格日（誕生日）を日本出発日と決め、あらゆる手続きを済ませるのも大変でしたが何とか完了して、さようなら倉敷こんにちわペナン。

そしてペナン生活2年間で感じた事は得るものも大きいですが、捨てなければならぬものもあるという事です。全くの私的感情も含めてお話しします。

悲しい部門

1. ファンクラブにも入っていた坂本冬美のコンサートは観に行けない（百も承知ではあったのだけど・・・）
2. 大好きな温泉に入って風呂上りのビールを堪能できない（これも百も承知の筈でした）
3. 親戚・友人・知人に滅多に逢えないし、親の死目には逢えない覚悟がいる。
4. 可愛い孫を思い出しては涙ぐんでいる（私だけです）、帰国した時の再度の別れが辛い。
5. テレビはNHKワールドプレミアムしか観れない（近々民放もネットで観られるようになるらしい）
6. 好きな刺身を自宅で食せるのはイカ・サーモン・マグロ位に限られる。
7. 交通マナーは最悪（日本と比べて）ですが、

慣れてしまえば運転も楽し腹も立たなくなります（私は今でも時々怒っています）2年間で交通事故現場は50件以上は遭遇していますので気を付けて運転しましょう。

8. 騒音に寛大なマレーシア。大音量のコーラン（イスラムのお祈り）や、新旧のお正月の花火や爆竹はさながら市街戦の真っ只中に居るようですので心臓の弱い人には耳栓をお勧めします。



自宅から見た昨年のインドネシア沖地震の大津波

嬉しい部門

1. 少ない年金、又は貯蓄の取崩し等でも個人の予算に合わせた生活スタイルが選べる。この件は下見旅行でペナンに来られる方の質問が多いので詳しく説明します。我が家の生活費がペナンで生活されている日本人の平均的な水準ではなかろうかと思っていますので我が家の生活費を参考にして下さい。

住居費・45,000円 NHK（アストロ）・2,500円 電話（自宅・携帯）ネット・4,000円 ガス、上下水道、電気代・3,000円 食材費 25,000円 外食（昼・夜計15回位）・15,000円 病院医療費・5,000円 ビール等・15,000円 ゴルフ（月・10～12回夫婦で、ガソリン、高速料金込み）バギー付・キャディ無・36,000円 その他・9,000円 合計で約16万円位/月の生活費ですが、年払いの費用が医療保険・10万円 車両保険、税・7万5千円 ゴルフの会員権（夫婦）・

4万5千円 その他に冷凍庫・ゴルフセット・眼鏡・家具等々結構買い物をしますので結局年平均で、月額18～19万円の消費生活だと思います。(帰国費用・旅行・車の償却費は含まず)

もちろん節約すれば月10万円でも生活できるし、贅沢しても結構ですし自分流に自由に生活設計されたらいいかと思います。

2. 一年中夏なのでTシャツ・単パンで過ごせるので無精者の私にはぴったり、又夏といっても日陰や朝晩は涼しいのでエアコンは3～5月の暑い時期のみ時々使う程度です。
3. 東南アジアの中では治安が一番良いと思っていますが、時折日本人宅に泥棒が入ったり、人通りの少ない道路で引ったくりにあった話は聞きますので、用心して警備のしっかりしたコンドミニウムを選ぶのも大切です。
4. リタイアメントビザが取り易く、それによって車は免税で購入・輸入出来る様になりました。売却時に課税されます(時価)
5. 悲しい部門と相反する事ですが、日本に居る時よりも親戚・友人・近所のしがらみが少ないので自分達の時間がたっぷり持てる。
6. 心配していた医療体制もしっかりしていました。私の体験ですが、ガン検査の為胃カメラ・大腸カメラ・膀胱カメラ・MRI・超音波・肺のレントゲン検査・尿、血液検査・腫瘍組織検査等行いましたが通訳も付いて安心でした。幸いにして悪性ではありませんでした。費用は総額23万円位でしたが、ペナンで加入した保険が適用されて自己負担は約3万円でした。
7. コンドミニウムは比較的多く色々選べて安価です(約3万円～8万円位) 家具家財の仕様により同じコンドでも値段が違います。又オーナーから1700RMで貸したいと聞いていた二つの部屋をどちらも日本人が2000RMで一つ返事で借りてしまいました。会員の方は値段を良く調査して契約してくださいね。日本人が家賃を吊り上げている

結果になります。

ここはマレーシア、まして値をふっかけるのも当たり前なら値切るのも当たりの文化なのです。

海外(ペナン)生活の悲しい部門と嬉しい部門を感じたまま述べましたが、差し引きしても圧倒的に今の生活が出来る事に感謝しています。

念願のリタイア生活を楽しむ為にペナンに来ているのですから我々会員は「仲良く・楽しく・のんびりと」をモットーに夫婦、そして会員同士助け合い、健康第一で楽しい日々を送れるように努めたいと願っています。

バギオ支部 新年ご挨拶

バギオ支部長 No. 227 齋木 一

会員の皆様、新年明けましておめでとう御座います。会員NO. 227 バギオ支部齋木です。会もいよいよ会員番号も1000番台になり、益々発展を続けていて素晴らしい事です。バギオ支部も支部開設3年目を迎え少しずつ地に足が着いた活動が出来る様になって来ました。これも会の本部役員をはじめ会員の方々のご指導とご支援のたまものと感謝しています。

日本での知名度がイマイチだったバギオも、最近は「暑さ・寒さ知らずの高原都市」として段々に知られる様になって来ました。フィリピンを取り上げる雑誌や旅行関連の本等でも記事をよくも見かけます。会員の視察も年々増えています。

バギオは、フィリピンの首都マニラから約250kmの距離にあるフィリピン最大の島ルソン島北部山岳地帯の中心都市です。海拔1400mから1600mの高原に広がる、人口約30万人の都市です。約百年前の1905年に当時この国を統治していた米国が、暑い夏の間行政機能を暑く、湿度も高いマニラから移転さ

せる為に計画的に開発されました。今でも「サマーキャピタル・夏の首都」の尊称で呼ばれています。

バギオのベストシーズンは12月から5月迄の乾期ですが、最近は10月、11月も比較的雨が少なく、雨期の終わりの緑の色濃い静かなバギオを見る事が出来る季節だと思っています。避暑地として発展したバギオですが、南国にありながら暑さ知らずの「避寒地」としても評価されるようになって来ています。

2005年はバギオへの登山道路が開通して丁度百年目で、フィリピンのゴルフ場の草分けとも言えるべき「バギオカントリークラブ百年祭」等多くのイベントのあつて賑やかな1年でした。バギオ支部もバギオ最大の祭典「フラワーフェスティバル」に、会員紹介の「よさこい連」でパレードに参加した記念すべき年でした。

今年、2006年も前年に引き続き、「フラワーフェスティバル」の期間中パレードや、公園での盆踊り、生け花教室と展示等多くの企画を会の友好団体の「バギオ日本人会」と共催で計画しています。例年2月は日本大使館主催の「日本月間」で各種の企画がフィリピン全土で開催されますが、今年のバギオ日本人会の企画は日本月間へも正式に参加しています。

バギオ支部としての友好団体「北ルソン比日友好協会」を窓口小学生2名への奨学金の支給も継続します。日系人子弟の大学生を対象にした「日本語基礎講座」もいよいよ3年目を迎えます。バギオは、町として開発されてまだ百年の歴史しかなく、観光する場所もそれ程ありません。バギオの最大の特徴は1年を通しての凌ぎ易い気候と、美味しく新鮮な高原野菜です。「生活都市」ですから、LSを考える場合、「何処へ行くか」ではなく、「そこで何をするか」です。

バギオ周辺には約7千人の日系人が住んでいます。もう6世迄います。遠く日本を離れ、日系人である事は知りながらも、日本の事を余り知りません。日本語を話せる日系人も殆どいなくなりました。その日系人達に、今の日本や、日本の文化、を伝える「ボランティア活動」や、

恵まれないフィリピンの子供達へのお手伝いは、LSにより充実した日々を与えてくれる筈です。

勿論、南国でありながら1年を通して最高気温が28度を上回る日は殆ど無く、日本の寒い冬の期間もバギオでは1日の最低気温が12度程度ですから、少し涼しいと思うくらいで、「避暑地」であり「避寒地」としても充分資格があります。最近はその静かな環境の中での「英語研修」も盛んになって来ました。

昨年2回開催した「ミニサロン会」は不定期ではありますが、今年も開催回数を増やす様に支部として取り組みます。「懇親ゴルフコンペ」も今年は企画出来そうです。「英語研修」も勉強するだけでなく、日系人に日本語を教えながら自分の英会話の実力をアップさせる企画も検討しています。バギオでは、一味違うLSを体験して頂きたいですね。

バギオは約百年前に日本人が登山道路の難工事に参加し完成させ、町づくりの第一歩から関与した、いわば「日本人が作った町」です。今この町で日本人を殆ど見掛ける事が出来ないのは大変残念な事です。「南国暮らしの会」の会員の滞在が増える事によって、「日本人が住む町」になればいいですね。

バギオの高原を吹き抜けて行く涼風と、新鮮な高原野菜や南国の果物にかこまれて過す静かな日々が、これからの人生をより長く、より充実したものにする確信しています。

2006年が、会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますように祈念します。そしてこの会が益々発展し、素晴らしい会になる事を期待しています。



南の会会員の訪問に制服姿で歓迎する
カバルアン小学校ドラムバンド

セブより新年のご挨拶

セブ支部長 No.198 川上 雅久

南国暮らしの会員の皆様 明けましておめでとうございます。

昨年は沢山の訪問セブの会員方々と親交を暖める機会が持て、支部会員一同感謝しております。

拙い案内にも関わらず、沢山の感謝メール等有難うございます。又、時間や日程の関係上大した御案内の出来なかった方々には、この場をかりてお詫び申し上げます。

今年も昨年以上の方々との交流が楽しく出来れば幸いです。

勿論リーピーターとなられた方々の再度・再々度の御訪問も楽しみにお待ちしております。

今回『南の会』編集部からの新年にあたってセブの魅力を書きなさいとの要望が有りましたが、セブには他の地域のように日本人から見て驚くほどの突出した良さと言う物が、余り有りません。

強いてあげれば細長い島の真ん中を1,000m超級の山並みが走っているので、1年中山から風の吹いてる日が多いことでしょうか。

日本においては山からの風は寒くて欠点にもなるのですが？南の島では風は天使の囁きのように気持ち良いです。

私の発想力の乏しさの所為か、後は特筆に価する様な事柄がありません。

セブ在住の会員の話題の中でよくこんな話が出てきます。「此処に（セブ）居ると外国に居ると云う事を忘れてしまう時があるよね、言葉以外は殆ど日本に居る時と変わらない1日が過ぎるよね」長く滞在している人々（会員以外でも）の共通の感想です。

外国であるのに1日が何気なしに過ぎて行く事、これもセブの特徴の一つかも知れません。

勿論、ダイビング等の海遊び・ゴルフなどは日本と一味違った楽しみがあります。

私見ではありますが気候・物価・観光等、何事に於いても60点から70点というのがセブの魅力と言え魅力でしょうか？

最後に最近「セブで英語を習いたい」と言う、お問い合わせが多いので紙面をお借りして、御質問に関しての現在住んでいる多くの方々（会員以外も含めて）の状況を掲載させていただきます。

1、新聞・公共機関・外人（日本人も含む）の生活は全部英語なので半年もいれば生活用語は覚えるのでことさらに習わない

*上達は遅いですが生活は何とかやって行けると思っています。1年も住んでいれば、日常生活用語は問題ないと思えます。

但し勘違いをストレスにならずに笑って済ませられる人間 だけです。

2、学校の英語先生を個人教授にお願いして勉強する（毎日1・2時間 p150～p250 /時間）先生は程度に依って小学校から大学まで個人のレベルに依って選べます。

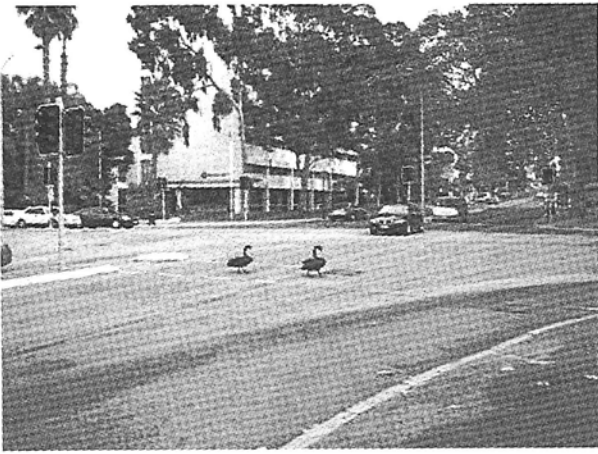
*セブへ来てから英語を習って、そこそこ話せる人達はこのタイプが多いようです。

3、現地の大学で外国人向けの英語クラスへ入って勉強する結構ハイレベルなので多少の日常会話ができる程度の人では苦勞するようです。

*これから「英語を使う仕事で身を立てよう」とする人以外必要ないと思われれます。

「南の会」皆様本年も、よろしくお願ひ致します。





真夏のパスから

パス支部長 No. 110 藤本 靖人

明けましておめでとうございます。今年こそ皆様のご希望が、お1人でも多く達成出来ますよう願っております。

さてここパスのお正月は1日休日以外何もありません。新年のカウントダウンに続いて花火を打ち上げて終わりです。日本を脱出して4回目のお正月ですが、今年も1年無事過ごせればと願うのみです。

昨年はオーストラリアのリタイアメント・ビザが打ち切りになり、よりハードルが高いリタイアメント・インベスター・ビザ新設されました。このビザは永住権が与えられますが、許可に際して75万ドルの国債、または州債を購入し、持ち続ける必要があります。さらに75万ドルの資産証明が必要です。従って150万ドル(1億3500万円)が必要になります。はたしてこのハードルを乗り越えられる方がどの程度居られるのでしょうか？しかし最近では日本の景気回復も本物らしいので、ハードルを跳び越える方々も増えるでしょう。

今年の日豪友好基本条約締結30周年だそうで、オーストラリア各地で色々なイベントが企画されているようです。パスでも総領事館が主体になり、9月末の1週間開催されるパス・ロイヤルショーに日本パビリオンを出展する計画が進んでおります。このロイヤルショーは元々農業祭ですが年々規模も大きくなり、期間中40万人以上の観客が訪れるそうです。日

本パビリオンは日本の伝統文化と日本の最新のテクノロジーを中心に紹介すべく企画(小生もパビリオン委員会の一員)しております。パビリオンには舞台を設け(場合により屋外で櫓を組むことも考えています)日本の伝統的なお祭りなどのパフォーマンスを演じられればと願っております。皆さんの中で一肌脱いで頂ける方がいらっしゃれば是非ご連絡頂けないでしょうか。宜しく願いいたします。また、この時期は4000種と言われるワイルドフラワーの季節です。年間を通じて最も観光客も多い時期でもあります。観光を兼ねて国際交流をお願いできれば嬉しいです。

話題は変わりますが、3～4年前つまりパスに移り住む前のオーストラリアドルは60～65円で推移していましたが、昨年末には90円前後になってしまいました。と言うことは40%程度生活費が上昇したことになり、10%の消費税の新設、インフレ率4%など考慮すると日本と大差無い生活を強いられる羽目になってきました。しかし、アウトドアの費用、食品価格、安全性、住環境などを考慮すると、まだまだ日本に比べ住み易いと判断しております。

パスは決して観光都市ではありませんが、何となく住んで見たくなる都市と言うのが私の感じです。

それでは今年も皆様のご活躍を心からお祈り申し上げご挨拶に代えさせていただきます。

上の写真は東海支部の小島志郎氏が早朝偶然パスで交通量の多いアデレードテラスで撮影された写真です。ブラックスワン(州鳥)が横断歩道渡る微笑ましい風景です。

連絡先 fujisann@iinet.net.au

電話 61-8-9591-1756

記念すべき会員No. 1000番

札幌支部 No. 1000 林 隆雄

会員番号No. 1000を頂き有り難うございました。11月末の札幌での例会に参加させていただきました折に会員番号の件が話に出ましたが本当になるとは思いませんでした。この場を借りてお礼を申し上げます。

私も多くの方々と同様に四十代・五十代も仕事に精を出しましたが、このままの生き方で納得できるのかと考え、五十代に成ってから妻と二人でスキューバダイビングを初め、最初は冷たい北海道の海で潜り、次にダイビング仲間と何度も沖縄の海に出かけ、ようやくカラフルなさかなに出会い、マンタに出会ったのは感動でした。

これを機会に国外でのダイビングに興味を持ち、日本の南のサイパン・ガムを皮切りに、オーストラリア、パラオ、フィジー、モルジブへ出かけました。二人で出かけたモルジブとパラオは圧巻でした。

これらの地域はサファリー・ツアーで有名な場所で、中型の船に乗ったまま何日間も島の間を航海しながらダイビングスポットで海に潜り、ダイビングの間は自分の部屋でねたり、島に上陸してショッピングをし、食事の時間は船上のダイニングルームでフルコースの食事ができる夢のような生活でした。

ダイビングの経験からカヌーを学び始め、北海道、沖縄やパラオでカヌーをエンジョイする事が出来ました。今では孫達もカヌーをトレーニング中と言うおまけも付いています。

ここで話題は変わりますが、2年前から夫婦二人で道内でのキャンプを始めましたが、それが予想以上におもしろくてすっかりキャンプにはまってしまいました。道内のキャンプ場は想像以上に立派で、大いに活用させてもらっています。

7・8月を外すとキャンプ場はがらがらに空い

ており、あの立派なキャンプ場が我々の車だけと言う事がしばしば起こります。本来ならばキャンピングカーと決めたいところですが我々には辛ができません。私が苦勞して車内を改良しましたのでキャンプ場で二人が余裕を持って車内で寝る事が出来ます。でも本当はキャンピングカーが欲しい。北海道では本州からのキャンピングカーや車がふえています。道路やキャンプ場も良く、施設使用料も本州と比較して凄く安いとのこと。本州から来ている人達は早くから道内のキャンプ場に来て地域での釣りにはまっている人もいます。

筑波から来ているキャンパーから教えてもらったのですが、「だったんそば茶」をお湯に溶かして一日に三度飲むのを続けると血圧が下がる人もいると聴き、七月から始めて現在は薬を飲まない日々を過ごしているという嬉しい結果になっています。又、キャンプを続けて何が楽しいのかと訊かれますが、「ロングステイ」と似通った部分もあるような気がします。

キャンプ場に行けば近くに楽しい温泉があります。食事はキャンプ場の近くで、安い費用で新鮮な肉や魚や野菜を仕入れてきて、テントの横で料理をすることが出来ます。この頃はキャンプ場に行ったら体力のある範囲内でハイキングを楽しみ、無理して頂上を目指さず、余り疲れないうちに自然を楽しみながらキャンプ場に戻るようにします。

時間が有るときは地域の図書館や史跡も訪ねたりしています。キャンプの一番のメリットは宿泊するホテルの予約は必要なく、3泊に一度位ホテルの空きを電話で調べるようにすればキャンプの疲れを取ることが出来ます。当然ですが、車内にはキャンプ場ガイド、ホテル、日帰り入浴ガイドを忘れないようにしましょう。

最後になりますが、海外に出かけると言葉の壁にぶつかり苦勞する事が多々あります。私も苦勞していますが、アジアやアフリカその他の英語を使用しない国々にも英語は庶民の生活の中に入りこんできており日本の旅行者にとっても無視できない存在になって来ております。

一か月前に我が家にDVDのソフトが送られて

きて、それを見てビックリしました。まさに値段も格安で耳鳴らしに最高の教材で毎日楽しみにして世界の名画を楽しんでいます。

~~~~~  
**会員番号1000番おめでとう  
ございます。**

酒匂理事長  
~~~~~

入会して良かった。感謝！！

関西支部 No. 173 平山 三雄・律子

新年あけましておめでとうございます

A HAPPY NEW YEAR

会報ご担当の村松様より「新年号の原稿のお願い」のメールをいただきました。会員番号のとおり会員歴は古いものの、ロングステイの経験もない私たちですが、貴重な紙面をお借りして夫婦紹介させていただきます。

私たち夫婦は、今何かにつけて話題の団塊の世代真っ只中、共に1947年生まれです。この広い世界で、なんと狭い同じ職場の同期同士が結婚。そしてズーッとそのまま共働き、定年まで残すところ2年3ヶ月です。（よく働いたものです。）

三雄の生まれは大阪府堺市。育ちの地は兵庫県姫路市、明石市です。

趣味は、ゴルフ・テニス・尺八（新都山流）それに手先を使う日曜大工や男料理など。

律子は生まれも育ちも兵庫県宝塚市。

趣味は、旅行（国内外）・映画鑑賞・ガーデニング・山歩き・ウインドウショッピングかな。

夫婦で出かけた外国旅行はシンガポール・香港・グアム・スイス・カナダ・オーストリア。中でもとりわけカナダでは、B&Bを宿所に、滞在中レンタカーを借り切り、ロッキーを移動した感動の連続の国でしたから、いつか住んで



足立美術館(島根県)

みたい、こんな景色を毎日眺めていたいと心底思いましたね。環境保全に努めてるカナダに感服です。（人も自然も地球そのもの。）

趣味の旅もヨーロッパは遠いから、飛行時間に耐えられる今のうちかと、休みを利用して思い出作りに行っていますが、三雄いわく、アジアを拠点にそこから旅行しようと誘う言葉が、南の会への連れ出しの始まりでした。

さて入会は元大阪支部長大橋績様ご夫妻のお世話により、フィリピン、プエルトアズール在住の竹内司様ご夫妻のお話を、お聞きしたのがきっかけでした。

本当に実行されているんだとの驚きとともに、LSの目的は「主人だけがリタイアするのではなく奥様にもリタイアして貰う（させてあげる）」という『冒険ダン吉倶楽部「人生を二度楽しむ南国ロングステイ」』の精神にも大変感銘を受けたのでした。

当日、気乗りしないで出席した律子も熱心に聞いておりました。

あれから7年ほどになるでしょうか・・・

2年前の12月28日。短期間でしたが夫婦でペナン空港に降りました。そこは南国！温ったかい！風は心地良く、人も時もゆっくり進んでいる感じ。ここは南国マレーシア。

初対面にもかかわらず、ご親切に自宅にお招きいただいた前支部長木村義光様ご夫妻はじめ、

ペナン在住の石原彰太郎様、現支部長竹岡隆志様ご夫妻、大橋さま、賀陽恒磨ご夫妻、お目にかかれて楽しく嬉しい時間を過ごさせていただきました。

昇る朝日や沈む夕日を眺められる幸せに、心から感謝したものでした。

入会以来、会報や会員の方々のメールを読んで大いに笑い、いいなあと思ひ、なるほどと参考にさせていただいたり、ホント楽しみにしています。残りの人生にチャレンジしたいです。これからもいろんな情報を載せてください。ロングステイ未経験の私たちですが、もうすぐ仲間にいれてください。

2006年も皆様方及び本会にとりましも良い年でありますように。

『2006年の計を たてるにあたって』

札幌支部 No.111 堀江 幸博

最初に自己紹介からしますと、妻共々北海道夕張市に育ち、現在札幌市に住んでいて、何かと話題になる団塊の世代です。子供は皆独立し夫婦二人の暮らしで、近くで独り暮らしをしている80歳の父を気にかけるのが日課です。海外旅行が父の体調次第で予定を立て難いのと、年金改正で老後の資金計画が必要になったのを除けば、まず平穩無事な生活を楽しんでいます。

初めて海外に暮らす具体的な話を聞いたのは、10年ほど前になります。たまたま行った東京大手町でのロングステイ財団主催マニラ在住小松崎憲子さんの講演でした。

65歳を越えた女性が楽しそうにエネルギーに話す姿と内容に驚き、手の届く範囲での楽園のように聞こえました。海外経験を持たないできた高齢の女性が、危険なマニラで、年金で暮らしているという事実は、時間が自由になっ

たら是非確かめてみたいと思わせるのに充分でした。

小松崎さんの講演後、フィリピン情報を集めるようになり、竹内司さんが主催している会を見つけました。比較的簡単に見

つけました。わずか数年前の事ですが、欧米情報に比べアジア情報はほんとに少なかったのです。この会が平成11年NPO法人となります。南の会との関わりの始まりでした。

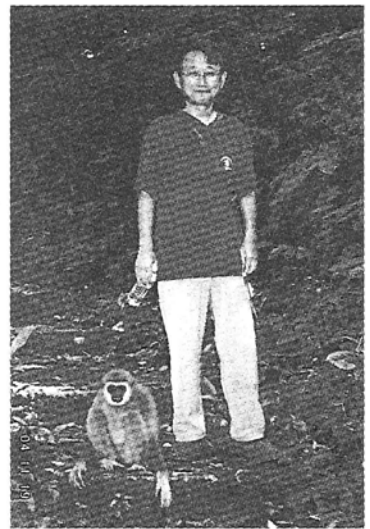
ただ、私は仕事に追われ、妻は4人の子供の教育等に追われ、手にした情報を眺めているだけでした。

講演会から5年近く経った平成12年春に早期退職し、バカンス兼ねて海外暮らしを見に夫婦でフィリピンのセブとダバオへ行きました。2週間の旅行日程を組み、南の会会員の方からも情報をいただき、格安航空券の購入・ホテルの予約を手配してみました。インターネット普及に伴い海外情報入手が容易に、海外電話が安くなり始めていたころで、タイミングが良かったようです。

マニラを避けたこともあり、特に身の危険は感じませんでした。デパートの護衛のショットガンにはギョッとさせられました。お客は誰も気にしていないので、すぐになれましたが、笑顔と銃の組合せは奇妙なものでした。

そして、バカンスで滞在したカオハガン島での所有者・崎山さんと島民の暮らしは、「何もなく豊かな島」のとおりでした。知らない世界と生活があり、暇な時間がないと目に入らない事がありました。

翌年、ロングステイ財団の配布紙の広告にマレーシア短期英語留学3ヶ月ツアーを見つけ、



妻とクアラルンプールのホテルに滞在しました。些細なトラブルが待っていましたが、とにかく安かったです。

朝、公園で太極拳グループに参加し、教室で4～5時間の授業を受け、夕食をとり食堂へ行くという毎日でした。

日本・中国・オマーンからの若い人10人くらいに混じり長時間一緒に授業を受けるなかで、ときおり表れる経済力・ゴミの扱い方・生活様式などの違いが、大変刺激になりました。

土日には街の中心部に出かけていました。イスラム教国ですが、他民族国家なので、中華街・インド人街もあり、さらに首都ということで様々な文化施設・ショッピング街もあり、見きれずに終わりました。

食事で少々残念なのは、首都だけに全般に物価が高く、量を考えれば安いのですが、美味しいと思う食事をしようとする、札幌とそれほど変わらなかったことです。ただ、これは、味だけでなく、見た目にもこだわるためかもしれません。

帰国後の翌月9. 11テロがあり、主催していた旅行社が破産してしまいました。残っていた日本の若人は、全額払い込みが終了していて、言葉の不自由な海外で途方にくれるような事はなかったのですが、普段気付かない海外リスクを知らされました。それと上手になったかはさておき（シニアは試験を受ける必要がなかったので東海岸の島へ小旅行）、言葉の必要性は充分認識させられた滞在となりました。

この頃から、北海道会員の方との交流が始まりました。

4年前の当時 北海道会員は数名で札幌圏に住んでいるのは会員番号245佐藤夫妻と私共夫婦だけでした。北海道に住み続けたいというアンケート結果をよく見ていましたし、欧米でなく東南アジアに行こうと言うのですから、会員数は少なくても当然と感じていました。

それでも、翌平成14年に宮崎副理事長が何度か札幌にこられ、現支部長の会員番号625工藤夫妻の熱心な働きかけで、北海道支部が設

立された平成15年10月には、20名を越えていました。そして現在（平成17年10月）会員数36名です。

会員数の増加とともに、小さな部屋での情報交換会から教室なみの会場へ変わりました。会員の方には、沖縄に行かれた方、ペナン滞在の会員もいらっしゃるようになりました。

この間、私共夫婦でも、フィリピンの話を聞いた頃に年単位の長期滞在も悪くないとぼんやり考えていたのが、冬南国で残りは札幌となっていました。

マレーシアの後、ベトナム・沖縄・タイと旅するうちに、楽園探しが適地探しへと変わってきていたのです。

冬暖かく・安全で・生活費が安く・食事がおいしいところを探すようになり、札幌も結構住みやすいと思いなおすようになっていました。

冬暖かい南国の魅力は変わりませんが、ここ数年の物価下落（内外価格差の縮小）が効いて、私共の生活スタイルでは、以前ほど安く感じられないのが大きいと思っています。

一方、南の会全体では、会員数増加に伴い、国内・海外支部を持つほどの大きな組織になり、人のネットワークの広がりや海外情報の集積量には、目のみはるものがあります。

私共以上に早いスピードで、組織も会員の意識も変化していると感じます。

利用できる道具も電話/FAXからeメール、携帯電話、スカイプへと広がっています。情報交換の場であった集まりも、掲示板含め自己表現の場ともなっているようにも見えます。

これらの変化に伴い、見解の違いによる衝突・事務作業の増大による担い手をどうするか等いろいろな事が起こるのでしょうか。けれど、南の会会員は、様々な状況の人々が集まるなかで、相互の情報交換・交流を通じて、海外会員も含め楽しい海外生活をおくれるよう手助けしあうことにより、寛容と自立心を持って適切な解決策を選択しつづけることが出来るはずと思っています。

何故なら、海外の多様な価値観を受け入れる

ことに長けた会員の方々に、対応できない変化はないはずですから。

会員番号1000番を超えたと聞いて、今までを振り返ってみました。2010年の後半が始まる今年も、南の会、そして皆様にとって良き年でありますようお願いしています。

最後まで、駄文を読んでいただいて、ありがとうございました。

2005年を振り返って

甲信越支部 No.26 鈴木 宣夫

会員の皆様ご無沙汰しています。先日会の役員の方からメールが入り新年号に投稿して欲しい旨の依頼が来ました。お断りするわけにもいかず引き受けましたが文章になるやら心配でした。幼稚な文章にお付き合いください。

早いものでチェンマイを引き上げてから早2年余りが経過しました。光陰矢の如しですね。チェンマイ滞在中は会員の皆様に何かとお世話になり誌上をお借りして厚くお礼を申し上げます。チェンマイ滞在中はチェンマイより色々処へ旅をしました。実はVISAの書き換えの旅もあります。中国の昆明、大理、麗こう、NZ、オーストラリア、トンガ、フィジー、カリブ海クルーズ、キャメロンハイランド、等色々と周り昨日の感がいたします。

キャメロンハイランド

昨年の暮れより3月1日真での間ペナンよりキャメロンへバスで入り1ヶ月間滞在しました。当初はホテルに滞在を考えていましたが滞在して浴槽にお湯が溜まらず風呂好きな者には耐えられません。そこでホテル側に申し込み傍のAPを紹介していただきましたがやはり浴槽に入るほどのお湯は溜まらず風呂に入るのをあきらめました。

キャメロンは高地ですが湿度が低く常春の国といわれるところです。日中は家にいると少し肌寒く布団をかけての滞在になります。従って家にはクーラーはありません。3LDKで寝室は3部屋で2人では広く今後は2家族でも安く滞在できるのではと考えています。

そうこうしている間にインドシナ大地震があり家の中にいましたが、窓、シャンデリヤ等は揺れて大変でした。キャメロンは松本清張の推理小説の熱い絹の舞台になったところです。お茶の産地で耕して天にいたる処で清張が滞在して東京と軽井沢と結びサスペンサスに書き上げています。この機会に是非読みたいと思い現地の図書館から借りて読みふけりました。小説と現実が混同するような体験をしました。キャメロンはゴルフ場があり州立ですので会に入会して行くとセルフですと1R700-800円位で出来ます。ゴルフ好きには敵地と思います。

テニスコートが無料であり、図書館も日本語の書籍も沢山あり、トレッキンコースも体力に合わせてのコースが色々あり散策できます。湿度が低く歩いても汗はかきませんので気持ちよく散策できます。

私は図書館の前のブッシュの中にワラビが生えていてそれを取り持ち帰り味噌汁に入れたり、味噌つけにしたりして美味しく頂き何度も足を運びました。常春と言われる処です。1ヶ月もすると狭い町でするので買い物に行くと必ず日本人にお会いして立ち話をしたり食事をしたりで、友達になります。少し離れた処に街がありプリンチヤンといいます。この街は中国人が多く従って中華料理店が多く日本人には口に会い何度も足を運びました。色々な店が軒を連ねていますので、散歩しながらのコースにはよいところです。

最近では日本人が多く日本食材も多くあり不便はありません。もう少し日本の食材を求めるなら、バスで2時間の処にイポ市がありここはマレーシアの第二の都市で日本のジャスコも新進していて日本のジャスコを思い出す処です。キャメロンで知り合った友人と夜行寝台でバンコク入りして乗り継ぎ夜行寝台でチェンマイに入り

ました。今回は2週間はホテル住まいでホテルライフを満喫いたしました。その後は安いマンションへ移り日本からの友人を待ちチエンマイライフを楽しみ3月1日に帰国しました。

宮古島について

帰国してから暑さに同化したのか寒い処での滞在は持病の喘息の関係で体調が良くなり日本では小笠原、か沖縄しかないの結論で沖縄の旅が始まりました、那覇、石垣島、竹富、西表島、慶良間、座間味、宮古島等周り宮古島を廻ってみて自分に合う場所と思い決めました。5月の連休あけに訪れて色々走り回り観光地で福井の友人も出来私の計画を話し協力をお願いいたし、宮古島を後にしました。

ある夕方突然の電話があり住まいの向かえの方が今名古屋に住んでいるが10月の連休を利用して一時帰郷するので家の話をしたら貸しても良いとの電話が入り家内と宮古島へ飛び家主とお会いして見せてもらいましたが、リフォームにお金がかかりすぎ今回はお断りしました。新潟も段々寒くなり今年以前流行したスペイン風邪に似たインフルエンザが大流行するとマスコミが書き立てています。12月2日より4月始めまで間は宮古島での単身滞在を計画しています。

カナダの旅について

今回カナダの旅で廻る処はバンクバー、ビクトリア、バンフ、ジャスパの4箇所巡りの旅を計画しました、バンクバーで会員の方と会う計画もあり計画している途中に変更があり8月のベストシーズンになり費用も高くなり行くべきかと考えましたが、このタイミングを逃すと行くチャンスがなくするとの事で決行しました。

寸度学校が夏休み入る時期なので今回は2年生のの孫を連れての旅となりました。旅の期間は3週間の長旅になりました。直行便は高くSF経由でのバンクバー入りでした。バンクバーで4泊して友人と合流してビクトリア行きバス、フェリーを乗り継ぎビクトリアに入りロングステークラブの方が毎年ここに2ヶ月間ステー

するとの事(私も友人もロングステイの会員で)以前はNZのクラストチャチでお会いしているので何年振りに再会して色々観光地を案内して頂き夜は夕食の招待までしていただき感激した次第です。

バンクバーもビクトリアも夏も蒸し暑くなくすばらしい街でした。3泊した後飛行機でカルガリ真で飛びエヤーポートに着きました。そこにはリタイヤした人が赤いユニホームを着て、つたない英語を聞き取り行き先の所迄案内していただき、地獄で仏に合うとはこのことと感激をしました。お聞きすれば週1回で半日の案内をボランティアでやっていると、羨ましく思い自分も何か出来ないかと考えた次第です。其の方が手配していただいたバスに乗り私達のほかに数組のかたも同乗してのバンフへ向かい宿に着きました。

ここはユースホステルで中には食堂が併設されていてすごく便利なところです。建物も新しく今までのユースと格段に違います。ここで6泊しました、5泊は当初からですが、再度1泊お願いした所高いのでびつくりしました。少しずつ街の様子が解ってきてバスルートも解りバスを乗りこなすことが出来、バスを乗り換えての温泉プールに2度足を運びました。入場料は7ドルで何時間もいてもOKです。温度の表示は電光板で40度をさしていました。少し日本人には物足りない感がしますが、長く入るには問題なく温まります。日本人も1組いました。隣のカナダ人に話しかけました処早い英語ではなし理解できなくても聞き入っていました。

バンフは高地で廻りが3000m級の山々がそびえたっています。中々絶景の景色です。日陰は少し寒く日当たりは暑く蒸し暑くありませんが朝夕は少し温度が下がります。観光客の多い街です。その後はバスにのり最後の地ジャスパに向けての出発です。3-4時間ぐらいと思いますが、行けども行けども同じ風景が目に入ります。そうこうしているうちに街に着きそこから少し離れているユースへ向かいました。中々宿が取れずユースに1泊後の2泊はゲストハウスに泊まる予定です。ユースはにぎやかなくら

いの宿でした。日本人の若者も3組程いました。

バンフに比較すると街全体は小さく余り見るところの無い街ですが、盛んに宿の女将さんは町を見学することを進め自分で案内するからとのことで、歩いて10分の街へ案内役をかつてくれてミニ博物館を案内してくれました。街の近くの森に住む動物の剥製が陳列されていました。飲み物屋も連れて行き帰りは孫にお土産まで買って頂き、帰り道ここは災害も無く良いところであるとの事を話してくれました。住めば都ですね。

私には寒く長くいるところではないとの印象が強く感じた次第です。帰りは正午近くにバスで出発して深夜にバンクバーに着きました。始めに泊まった宿で一番休まる宿でした。最後はエアポート内にあるホテルでの1泊は日本では考えられないホテルでバススタブに入り窓開ければ滑走路が見える宿で、部屋の前面が窓で外の景色が見えてすばらしい体験をしました。翌は朝シアトル経由の成田行きの便で一時アメリカに入国するので検査は長蛇の列でした。指紋、写真を取られての入国検査で大変でした。一路成田へ旅をして感じたのはカナダ人は遊ぶために働くが日本人は生きる為に働く姿を目して違いを感じそうなるまでには長年かかると思った旅でした。

長い時間お付き合いを頂き、まとまりの無い文章で申し訳なく思います。、会員の方で同じカナダへ行かれる方は少しでもお役に立てば幸いですので御一報ください。

前回発行しました秋季号の発送作業に御協力頂いた方々です。

No. 757 笠原さん	No. 342 佐藤さん
No. 665 浦野さん	No. 117 龍野さん
No. 900 島林さん	No. 490 平澤さん
No. 712 高田さん	No. 462 小林さん
No. 596 中林さん	No. 434 大野さん
No. 163 宮崎さん	No. 38 橋本さんご夫妻
No. 470 細田さん	

関東支部パソコン教室ご案内

パソコン初心者の方(基本)からメール、スカイプ電話、パソコン活用方法マスターまで各自のニーズに合わせた教室運営に心がけております。ご参加をお待ちしております。

[春日部教室]

東武東上線武里駅徒歩約10分 武里公民館
講師 宇野 修先生 助手 菊地女史
会費 1000円/回 日曜日/月/1回開催予定
連絡先 No.712 高田 勝弘 048-736-0873

[川崎教室]

JR川崎駅徒歩約3分アーバンビル川崎2階会議室
講師 宇野 修先生 助手 菊地女史
会費 1500円/回 木曜日/月/2回開催予定
連絡先 No.491 岡 美千代 03-3752-2832
No.240 菊地 範夫 090-8349-9099

両教室とも原則的にノートパソコン持参

(貸し出し用パソコン若干有ります)

事前にご相談、ご連絡いただけます様 宜しくご協力お願い致します。

南の会のホームページがリニューアルされました。

1月1日より南の会のホームページが装いを新たに登場しました。

まだ完成されたものではありませんが、今後1年間くらい掛けて徐々に内容を充実させていきます。

会員の皆様からご意見、掲載写真、原稿等をお寄せ頂きより良いHPを目指して行きます。

<http://www.minaminokai.com/>

クアラルンプールでのロングステイ

マレーシア支部 会員番号 430 田村泰夫

明けましておめでとうございます。日本では年末に年賀状の作成、仕事納め、里帰り・・・、そして、初詣、お雑煮、着物姿などの風物を楽しむことができます。

外国に住んでみますと、このような日本がとても恋しくなるものです。日本の風習がとてもユニークに感じられ、こちらの人にもっと知ってもらいたい気持ちです。また、日本では何とも思わなかった事柄が、こちらで強く印象づけられることも多くあり、自分をじっくり見つめ直す機会が与えられ、貴重な人生体験をすることができました。

では、何年もKLでロングステイしたい方の参考に資するため私の体験と意見を記述します。

長期滞在の感想

私たちは65歳と63歳の退職者夫婦でKLに来て三年になります。KL を選択したのは、家内が重症の冷え性で、常夏の国を望んだからです。今家内は諸々の身体的な不快感から解放され、ここに永住することを希望しています。

常夏の国は多くありますが、私たち夫婦がロングステイ先を選択する上で次に重視したのは下記のとおりです。

1. 外国語があまり話せない夫婦が言葉のハンデを超えて何とか暮らせる国であること
2. 開放的でおおらかな国民であること
3. 時差があまりない国であること(頻繁に帰国したいから)
4. 治安がよく、生活の基盤が整備されていること
5. 物価がなるべく安いこと

タイ、フィリピン、オーストラリアを候補地として、現地調査などした結果KLに決定しました。

しかし、結果オーライであったものの、今振り返ってみますと、調べたつもりがそれは上辺だけで、大きな被害にあってもおかしななかったと思います。はなはだ慎重さに欠け反省しています。

近況

住まいはKL市郊外で中心部より8Km離れたところですが、車であればツインタワーまで約15分で行けます。自動車がないと大変不便なところですが、リスを敷地内で見受けることができ、またシーズンになれば鳥やカエルの声に囲まれるなどの環境の中に住んでいます。しかし、家内は不便なところだとぼやいていますが.....。

私たち夫婦はそれぞれに一生涯続ける趣味(?!)をもっていますので、時間を持て余すことはありません。他にはTVや読書、そしてインターネット仲間との交流および知人との付き合いで過ごしています。また、ここは暑いのでどうしても運動不足になりがちです。水泳や近くを散歩することを心がけています.....怠けないようにするのが大変ですが。

また、日本語を教えてほしいと頼まれ毎週大学生などを自宅で教えています。

マレー人は外食を大変よく利用しています。家内も外食主義で行くと宣言してしまいました。今、私たちは昼食を外食にしており、その他はパン食かオープンによる「チン」料理です。

旅行が好きですので、日本に年二回一時帰国して各地を訪ねており、その他マレーシア国内や外国旅行も年数回実行しています。

当初、時間をもてあますのではないかと危惧したのですが、今は自分の時間が足りないと感じるほどです。

マレーシアの特色

マレーシアの国は生粋のマレー人が約60%で、残り40%が近年移住してきた他民族の人で構成されているのです。華僑としてまたゴム園や港湾労働者として、中国人やインド人が移り住んできたのです。今では約25%が中国出身者、約7%がインド出身者、約8%が白人などとなり、他民族が異なる宗教をもち仲良く共存する「多様な多人種・多民族国家」になっています。

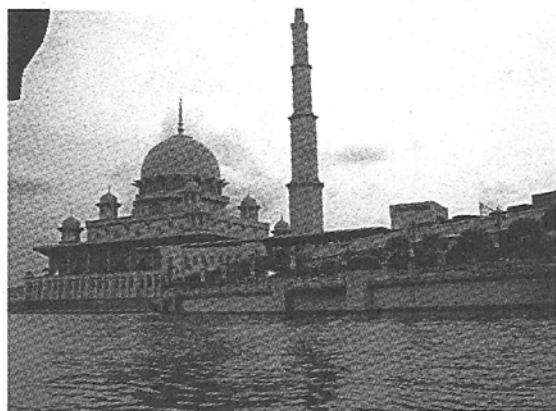
マレー語が公用語なのですが、イギリスの植民地であったことから、英語も共通語として使用

されています。また、出身地域に応じて中国語（広東語、福建語、北京語など）、タミール語が広く使用されており、この国の多くの人が数ヶ国を話すことができます。お陰で、私たちは特別な時を除き、通常数語による英単語の羅列で何とか対処できています。

マレーシアの国教は憲法によってイスラム教と定められており、生粋のマレー人はイスラム教徒であることが義務づけられています。しかし、他民族の人には個人の宗教の自由を認めていますので、中国系マレーシア人は仏教、儒教、道教を、インド系のマレーシア人はヒンズー教とキリスト教を主に信仰しています。

各民族は宗教の影響を強く受けており、民族ごと風習が大きく異なり、お祭りの時期や催しものは多様です。十一月はじめにはヒンズー教徒の灯明祭、そしてイスラム教徒の断食明け大祭、さらにクリスマス、二月には中国正月などがあり、当地では次から次へと賑やかで宗教色の濃い多様なお祭り文化を味わうことができます。

私たちにはこのような背景をよく理解して、彼らの習慣やタブーを尊重し生活することが求められます。



プトラジャのモスク

クアラルンプールにおけるロングステイ

クアラルンプール市(KL)におけるロングステイ者は近年少しずつ増えています。多分、大都会がもつ近代的な機能と多様性に魅せられたのでしょう。

当地の魅力の第一は、マレー人がとてもおおらかで、私たち日本人に親近感を抱き、温かく迎えてくれることでしょう。そのほか比較的治安がよく、また日用品の物価が安く、ブロードバンドでのインターネットなども普及し近代的な生活基盤が整備されている点も大きな魅力です。

銀行の定期預金の利子は一年もので 4%程度期待できます。資産のある方は大いなる恩恵を受けることが可能です。

日本の出店も多いです。日本の食材や日用品などの購入および日本料理の食事において困ることはほとんどないです。日本人との交流には日本クラブのカルチャ教室、非常時には「お助けマンクラブ」を活用されたいでしょう。

さらに日本人スタッフがいる信頼できる医療機関も数箇所あります。私は長年加入していた健康保険やがん保険などの医療保険をすべて解約しました。こちらで歯の治療および定期健康診断を受けていますがすべて実費で対処しています。今のところまあまあ健康であり、治療費は日本より安いからです。

日本の NHK と民法 TV も見ることが可能です。有料で最低月八千円程度しますが……。

日本に頻繁に帰省したい方にとっては時差が 1 時間であり、観光オフシーズンでは格安航空券(往復)を 4~5 万円で入手でき、しかも飛行時間は 6 時間半たらずで、夜発てば朝には日本に着くなど見逃すことができないメリットとなっています。

物価が安いことを期待しての年金暮らしのリタイア夫婦、海外旅行を楽しむために滞在している実年ペア、さらにゴルフは日本と比べると信じられないくらい安いので連日ゴルフ三昧している優雅な熟年夫婦など、多様な目的をもった方々が滞在しておられます。

なお、マレーシア政府は外国人の長期滞在者による経済波及効果を期待して、一定の条件を満たせば最高五年間の滞在許可証を発行してくれます。私もこの制度の恩典を受けています。この制度については別に詳しく紹介されて

いますのでそちらを参考にしてください。

気候

親類縁者や友人が以上のような私の解説に対して興味を抱いて偵察にやってきました。彼らにとって最大の難題は少々暑いことらしいです。年中、日中の気温は 30~34℃です。しかし、日没後は24℃以下になるので快適です。だからマレー人は夜を大いにエンジョイしています。

日中暑いのは確かですが、湿度は高くないのでムシムシするようなことはなく、日本の夏の不快さに比べればずっと過ごしやすいです。それに、雨季にはしばしばスコールという天の恵みがあり気温を下げてください。KLの天気情報をご覧になったら多くの日に曇り空のマークを見つけれられるでしょう。事務所などは寒いぐらいにクーラーを稼働させていますが、家庭内においては薄着ですごしますので、通常は天井ファンで十分です。高層のコンドミニアムでは窓を開ければ風が適度に流れ込んできますので、ファンもほとんど使用しないようです。我家の電気代はオール電化であっても4,000円程度/月です。

生活費

生活必需品の物価は日本の 1/3 程度だと思います。タクシー代は 1 時間借り切りで約 1,200 円、長距離で 2,500 円/70Km、女性のパーマー代が4,000 円程度、駐車料金が高いところで1時間 100 円位、玉ねぎとジャガイモが約 30 円/kg、全身マッサージ代は2,000 円程度/1時間です。

水道、電気、有線電話、携帯電話(2台)、ADSLのインターネット、テレビ、下水、コンドミニアムの管理費、ホームセキュリティなどのトータルは 25 千円/月で十分です。家賃は少なくとも5万円/月見込みたいですね。

なお、日本料理は 8 割位、日本からの輸入品(書籍や食品など)は5割増しです。

マレーシアは公共の交通機関が整備されていませんので、自家用車は必需品となります。長期滞在者はご自分の車を日本からもってくる

とよいでしょう。なお、油代は約50円/Lです。

旅行や特別な買い物などしなければ夫婦で 20 万円(家賃を含む)でゆとりある生活をすることは十分可能です。なお、日本の税金の免除と夏服だけでよいというメリットを受けられます。

ところで、マレーシア人の中産階級の家計支出は10万円程度と伺っています。

住まい

生活の質を大きく左右する基本的なものと認識して選択すべきでしょう。ずばり、住まいは供給過剰なのでより取り見取りです。賃貸住宅は一般に一年単位であり値段もピンからキリまであります。短期間滞在者用のコンドミニアムの物件数は少なく、割高となっています。

KL市街の見どころ

2020 年には先進国入りしたいという国家戦略目標をたて、積極的に近代化を推進しています。KL市はその代表で近代的な都市機能をもつに至っています。史跡や歴史的な建造物などはあまり多くを期待できません。



チャイナータウン

お薦めは、多様な多民族都市の姿(チャイナータウンなど)、ペトロナス・ツインタワー、KL タワーから見下ろす景観、イスラム寺院、夜市場(移動仮設式の物売り市場)、セントラルマーケット(お土産店)、民芸品センター、すずの民芸品製作工場、ハンディクラフト・センター、レイクガーデン(バード・バタフライ・オーキッドガーデンがある)

などです。郊外であればプトラジャ(新行政都市)、バヤインダー(広大な湿地帯)、ホテルのパークです。なお、ルートB62からKL市内を見下ろすパノラマは圧巻です。夜景もお薦めです。

食べどころ

多民族、大都会なので様々な国の料理を味わい楽しむことができます。

現地独特のものを希望される方には、マレー料理として、ナシ・レマ(マレー人の代表的な朝食で、飯にゆで卵、きゅうり、炒めたじゃこなどが付いている)、ミー・ゴレン(マレー風焼きそば)、ココナツミルク、ドリアンなどをお薦めします。中国料理としては、肉骨茶(骨付きの豚肉などを薬膳スープで煮込んだもの)、スチーム・ボード(中国風寄せ鍋)、飲茶(点心料理)があります。

日本人向けのお薦めのレストランとして、鍋物の「田園」、ベトナム料理の「Little Saigon」、点心料理の「翠恒酒家」、中国料理の「Over Sea」、日本料理では「花火」、「和楽」、「楽膳」です。詳しくはガイドブックを参照下さい。



夜市

ロングステイ先の選定

長年もの滞在先の選定は慎重にしましょう。まず、KLに何を期待するのか、自由時間をどう活用するのか、緊急時にどう対応するのか、十分に検討すべきでしょう。事前にロングステイ関係の本で知識を得、そして最低でも三ヶ月程度滞在して調査してください。その間に街の状況や住まいの質などを確認し、KL が自分にマツ

チしているかどうか、どの地区のどのようなハウスと間取りなどが自分にとってベストなのか、さらに積極的に KL のロングステイ者(業者ではない)から情報を得ることです。

留意事項

この国に住むからには「住まわせていただく」という感謝の気持ちがほしいです。その気持ちがマレーシアの人に自然に伝わり、心が通い合う仲間となり、より快適な生活を営むことができます。私もお陰で、トラブル時に助けてもらい、台湾やアメリカへの旅行にも同行させて戴いています。

しかし、この国に多くの問題があるのも事実であり、被害にあわないために、また自力での解決能力を高めるためにしっかりと情報を把握しておくことが賢明でしょう。

この国では贈収賄が半ば公然と横行しており、質の高い行政サービスは期待できません。また、外人を狙った犯罪者が少なくなく、知人の多くが引ったくりや割高のものを買わされたり、何らかの被害にあっています。

私の体験として、偽警官や賭博詐欺師から呼び止められ騙されそうになり、また悪徳タクシーから法外の料金を請求されたりもしました。さらに、バイクに追突され、加害者が保険未加入で支払能力がないために自己負担を余儀なくされました。

この国には日本人価格というものがあり、私は割高なコンドミニアムを購入してしまいました。構造や設備は契約違反、しかも納期は一年以上遅れたのに、弁護士はまったく役立たずでした。

この国の長期滞在許可証の取得や不動産の購入にあたって、親切に近づいてくる業者が日本人だからといって絶対に信用してはなりません。サタンはいつも天使のように近づいてきますので、ご用心！！

自分の身は自分で守る覚悟が必要です。感謝の気持ちと自立の覚悟さえあれば、日本では味わえないゆとりのある生活が体験できるでしょう。

【2006年の計】

皆様、明けましておめでとうございます。
関西支部No.618の大木研一でございます。
現在、サラリーマン稼業32年目の56歳です。

2003年4月に、木村義光氏のご紹介により入会致しました。

同年9月から3年連続でマレーシアの短期訪問を重ね、2007年からのロングステイ先をペナンに決めました。

従って、2006年々頭に際しての一年の計は、サラリーマン稼業を無事故で卒業し、心置きなく彼の地に向けて飛び立てるよう、着実にスケジュールをこなしていくといったところです。

未熟ながら2004年度から関西支部の広報担当を務めて参りましたが、2年間の任期も残り少なくなつてまいりました。

広報担当を離れても、ペナン支部へ移籍する迄の間、関西支部のお役に立つことがあればお手伝いしたいと思います。

入会した2003年当時と比べて、支部会員数自体は逡増傾向にあります。昨今開催した例会やサロン会の参加者は減ってきております。

大凡の情報収集を達成しテーマに魅力を感じなくなったベテラン会員の足が遠のく一方、積極的に情報を求めて参加する新人会員のすれ違いという状況を打破するのが、関西支部の課題と認識しております。

又、会全体としては、膨れ上がる国内支部会員と、そのプレッシャーに晒される海外支部会員という構図を、国内会員が良くわきまえて行動することも、必要と考えます。

本部にお願いしたいことを一つ。

各海外支部から定期的に生活費に関する情報を収集し、各ステイ先での生活費に関する調書として会報に掲載すると共に、南国グループのデータベース上で閲覧できる様にして頂きたい。

今後、インフレと為替の動向により、南国暮らしのコストも変化することが予想されるなかで、南国暮らしを目指す国内会員にとって、貴重な判断材料となると考えます。

さて、堅い話は程々にして、以下に自分のことを徒然に綴ってみます。

【なぜ、ペナンなのか？】

3回の訪問での滞在期間を合計しても、KL8泊、ランカウイ2泊、ペナン18泊で、計28泊に過ぎません。

多くの会員の方がステイ先の選定に際し、候補地巡りを重ね、慎重に事を進めておられるのに、こんなに気軽にステイ先を決めるとは、無鉄砲な奴だと思われることでしょう。

2002年末、海外ロングステイに興味を抱き、インターネットで検索しておりましたところ、魅力溢れるペナンを紹介する木村義光氏のHPに遭遇致しました。

又、2002年にペナン州シンフォニーコーラスという合唱団が来日し、日本の合唱団と交流した様子を報告しているサイトに遭遇しました。

南国暮らしの拠点を確保したとしても、如何にして『充実した暮らし』を実現するのか…

以前から趣味でコーラスをやっていた私には、閃くものがありました。

楽譜は世界標準が確立されており、歌詞さえ読めれば歌うことは可能です。

英語が共通語で、マレー語はローマ字表記であるとなれば、これは何とかなるのではないかと考えました。

そこで、ペナン州シンフォニーコーラスの訪日交流をお世話されていたNPOの責任者の方にお願ひし、ペナン訪問中に同コーラスの練習に参加できるように斡旋して頂きました。

又、南国メールの自己紹介でコーラスを趣味としていることを書いたところ、KLの末様からお声がかかり、KLグリーのリサイクル開催日に合わせて訪馬することになりました。

計三回の訪問を重ね、ペナンとKLの双方でコーラスを楽しむ環境が整いましたが、住処は何れかを選ばねばなりません。

練習日はペナンが週二～三回、KLが週一回となっております。

ペナンはネイティブの混声、KLは日本人会の男声です。

今のところ、夫婦で参加できるペナンを本拠、KLの練習には隔週参加というパターンを想定しております。



最上川舟歌のソロをする末様(中央奥)

KLグリーのHP

⇒ <http://www.cyberlite.com/gleeclub/>



昨年7月、世界合唱シンポジウムで来日したペナンの指揮者のHooiLayさん(右側)と京都にてペナンのコーラスメンバーと練習後の夜食?



【Cheong Fatt Tze Mansionをご存知?】

2004年、ペナンでは『チョンファッツィマンション』に3泊致しました。

ここを選んだのは、一つにはコーラスの練習場があるデワンに近いことがあります。19世紀の古い建物を修復して、ユネスコから『UNESCO's Asia-Pacific Heritage 2000 Award for Conservation』という表彰を受けた経緯に興味を惹かれたためでもあります。

ホームステイ用に部屋を提供しているとのガイドブックの情報を基に、インターネットで予約しました。

朝食付RM232(当時)という料金は、決して安いものではありません。

ホテルと比較して経済的なメリットはありませんが、修復や保存の費用を一部負担していると納得すべきなのかもしれません。

又、サービスもホテルとは異なる体制ですので、一般にお奨めできるものではありません。

私のように珍しいものがりで変わり者を自認する向は、一度試して見られても良いでしょう。

又、見学だけでしたらRM10ですので、英語に自信のある方はトライしてみても如何でしょう。

3泊4日の間、朝食で顔を合わせたのは、白人のみでした。

又、滞在中に一度ボーカルとジャズバンドによるコンサートが開催され、正装した白人のペアが大勢来館致しました。

JTBのネイティブガイドの見解では、『こんなところに泊まる日本人はおらん』とのことでしたので、皆無とはいえないものの少ないんでしょうねえ。



Cheong Fatt Tze Mansion(右下)

★注意事項

冷蔵庫、テレビ、セイフティボックスは部屋にありません。(RM232の場合)

又、私共が利用した部屋は、初日は黴臭が鼻につきました。

次第に、鼻が慣れたのか空気が入れ替わったのか感じなくなりましたが、これも古き伝統を鼻で味わったと納得すべきか？

★詳しい情報

チョンファッツイマンションのオフィシャルサイト

⇒ <http://www.cheongfattzemansion.com/>

内部の写真が閲覧できるページ ⇒

<http://www.worldisround.com/articles/61978/>

日本語解説 ⇒

http://www.hist.arch.waseda.ac.jp/activity/04_thesis/abstract/2003_m/my.html

【最後に】

三回のショートステイで、ロングステイ先を選定することができたのは、マレーシア在住会員各位のおかげであります。インターネットを駆使することが出来なければ、未だにどこかを彷徨っていたことでしょう。

最近では、Skypeやyahoo messenger等を利用して、手軽にフリートークを楽しむことも出来ます。今後、インターネットはロングステイヤーにとって、ますます欠かせないツールになっていくと思われれます。

さて、着実にスケジュールをこなしていく年と記しましたが、年老いた両親の健康状態等の諸条件が一つでも狂えば、計画変更を余儀なくされてしまいます。

今年が、南の会の皆様と私達にとって良い年となることを、祈念致します。

【メーリングリストより】

80 阿部です

以下のやりとりで南国ML(メーリングリスト)の仕組みのPRが足らなかった事を反省してます。

10297 Re: モロッコ情報探してます 岡 伸夫

10294 モロッコ情報探してます Tets sasaquit etjp (岡さん有難う! Tetsさんへ:エチケットで

は日本語での名前登録お願いしてます)

●重要情報です:

「過去の会員のML投稿」は全て保存されていて、会員だけが全て読む事が出来ます。--会員以外は読めません。

更に、検索機能がありますので、例えば「モロッコ」と入れればメール文に「モロッコ」が含まれたメールが全て表示されます。

検索は「岡 伸夫」と入れれば、岡さんの投稿メールが全て表示されます。「アドレス」でも「投稿番号」でも検索出来ます。

過去のメールを全て保存されている方もいますが、名前か番号だけの保存で済みますね。

●検索方法です:

実は「南国MLのホームページ」があるのです。このページの機能の一つを使って今のメーリングリストが配信されてます。アドレスは

<http://groups.yahoo.co.jp/group/nangoku/>

ですが、南国メール文の末尾広告(注意:会と無関係)の下ですが、「Group URL :」として毎度メールに表示されてますね。このページを開き、「グループメニュー」の「メッセージ」を開いて「メッセージ検索:」に「モロッコ」等と入れて下さい。これで下調べしてから、メールで更なる最新情報を求めて下さい。情報交換のやりとりは他会員も見たいのものです。

◎毎度のご注意ですが、この「南国MLのホームページ」を覗く為にはYAHOOの会員登録が必要です。無料で簡単ですので「南国MLのホームページ」から登録して「南国MLのホームページ」を利用して下さい。YAHOOを使ってるのでご了解下さい。

●内容(コンテンツ):

メニューの「ブリーフケース」「データベース」「フォトアルバム」を開くと、会員の過去の旅行記録(検索機能で誰がどの国に詳しいか一発です)、自己紹介、ホームページやブログ、SKYPEアドレス、ゴルフ場紹介、経験海外ホテル情報、投稿写真等会員の投稿記録が満載です。会の財産がびっしり詰まっていますので、ご利用下さい。更に誰でも情報追加出来ますので情報追加お願いします。(写真投稿は30K程度でお願い!)

支部長拝命にあたり

バンコック支部長 No. 423 村上 安

この度、長期間空白だったバンコック支部長を、理事長の強い後押しがあり、お引き受けすることになりました。微力ですが、会員の移住やロングステイを視野に入れての視察に関して、出来る限りのサポートをしたいと思っています。

支部長を引き受けるに当たり、定款、細則、委嘱状記載事項を遵守し、次の条件を提示します。

- (1) バンコク・スタイル(村上)でやって行きたい。
- (2) 定期的に情報は出せない。が 随時、会員に必要な情報は提供する。
- (3) 南の会員でも単なる旅行者ではなく、バンコクにLSをしたい方(模索旅行者)を優先してサポートする。

その受け皿の一助となるべく、「ロングステイ・タイ暮しの会」を設立しました。その活動内容を簡単にお知らせします。

「ロングステイ・タイ暮しの会」は、ロングステイ仲間がともに活動を通じて生きがいを広げ、より楽しい日々を過ごせるような環境づくりを目指す。同時に、これから新たにロングステイに加わる人たちへの支援を目的とするボランティア団体です。活動内容は下記の通りです。

記

- ①暮しの相談分科会(医療・保険・ビザ・住居・法律・人材紹介など諸問題の相談)
 - ②日本語学分科会(日本語教室の開催)無料
 - ③タイ語学分科会(タイ語教室の開催)有料
 - ④趣味の分科会(ゴルフ・釣り・テニス・ダンス・料理・生花・囲碁・旅行など)
 - ⑤パソコン分科会(パソコン教室の開催)
- 運用会費：半年400パーツ(800B/年)

今の所、月例会及び懇親会(毎月最終土曜日)。レディースサロン会(月1回)。ゴルフコンペ(毎月第一木曜日)。釣り(2ヶ月に1回程度・サメサン沖)。会報発行(毎月)。日本語教室(週5日)を行っています。

その他の活動は、一定の人数が揃い次第随時行う予定です。

南の会の会員にも門戸を開けていますので、わたしのゲストとして是非、ご参加下さい。移住やロングステイを実践される方は、この会に入会して頂きバンコク生活が実りあるものになりますよう、心から願っております。

KL支部長を引き受けるにあたって

KL支部長 No. 430 田村 泰夫

私たち夫婦はこれまでロングステイの方々とお交際し、いろいろな方がおられることは承知しています。

そして、またロングステイの方とお交際できることは私の生活にいろいろな潤いと活力をもたせてくれますので歓迎するところでもあります。

ただ、これまで会員以外のロングステイ希望者(調査の人)と接しての印象は、観光が主目的で、ロングステイに関する調査は従でした。

『まあ、ロングステイとはどんなものか、参考までに・・・・・・、観光のついでに物見遊山しよう・・・・・・』との感覚の持ち主が多かったです。

このような方々は、プライベートな面まで深入りしてこられようとされます。・・・・たとえば、住まいを見せてほしいとか・・・・

海外の会員の私は、ロングステイを真剣に考えられている方には熱意を持って現地対応する気持ちがあります。

しかし、海外旅行が主目的な方などは旅行業者に頼ってほしいと思っています。

会員のうち、ロングステイを真剣に考えられておられる方は少数ではないでしょうか、

会の趣旨からしてロングステイを真剣に考えられている方を主なる会員、そうでない方、たとえば海外旅行が主目的のような方は賛助会員として扱うことも一方策だと思っています。

“Route 66” 6400 キロの旅

(青年時代からの夢の実現)

関東支部 740 番 渡辺亜雄

[はじめに]

南国暮らしの会の皆様を広大なアメリカ大陸のドライブへご案内しましょう。

この旅に出る前に“Route 66”についてご説明しなければなりません。

“Route 66”は米国の西 Illinois 州 Chicago から東海岸の California 州 Santa Monica まで八つの州を結び 4,000 キロ弱を横断する国道である。アメリカ大恐慌直前の 1926 年 11 月 26 日、当時の最新舗装技術で造られた。

作家ジョン・スタインベックによる小説『怒かりの葡萄』や、映画『バックダッド・カフェ』、テレビ『ルート 66』でもその舞台となり有名だ。その後、高速道路の建設が進み、この“Route 66”は廃墟となる。そんな中、“Route 66”完成から 66 年後の 1992 年、この伝統ある道 “Historic Route 66” を保存しようという運動が活発化した。そして 1984 年に一度は国道として認められなくなったこの道を復活させた。また、1999 年にはクリントン大統領によって 1,000 万ドル (約 11 億円) の復興予算が下りた。

[夢の実現]

16 歳の頃テレビ番組『ルート 66』を見て以来、いづれこの道を走りたいと思い続けていた。いみじくも 1986 年、仕事でこの“Route 66”の一部を走ったとき、決意は固いものになった。2005 年 8 月、2 年延長した仕事から解放され、長年温めてきた夢の実現だ。ダンボールいっぱい集めた情報をもとに家内との長いドライブはこれから始まる。9 月 26 日：成田空港を出発、一路 Chicago へ。

[入国検査]

聞きしに勝る厳しい検査だった。入国まで 2 時

間。靴は脱がされ、身につけているものは全てケースに移され、日本から持っていたライターは没収された。9.11 の影響はあまりにも大きかった。

シカゴ空港 HERTZ でレンタカーを借りる。4 週間で 22 万円だった。

[シカゴでスカイプ]

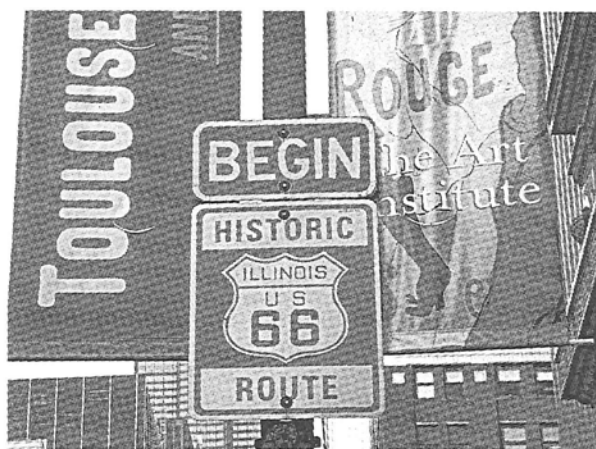
“Route 66”とスカイプ、なんの関係があるの？と思われるでしょう。なんと Chicago のホテルにセブの鶴岡副支部長からスカイプ電話が！出発間際に日本で話をしていた私が Chicago に居ることを知って鶴岡さん驚愕。

日本とフィリピンとアメリカ。世界中どこでも無料で通話できるスカイプは至極便利。南国の会の皆様、是非お試しあれ。

[シカゴの夜]

時差の調整に Chicago で 2 泊する。夜はシカゴ・ブルースとシカゴ・ジャズを楽しんだ。

[東から西へ]



BEGIN OF HISTORIC ROUTE 66

1960 年代、テレビ番組『ルート 66』の主題歌で歌われた“Get Your Kicks on Route 66” (Nat King Cole 他)のなかで”～from Chicago to LA

(Los Angeles)”となっており、この道の愛好家の間ではスタート地点はChicagoが定石となっている。

それなのになぜかスタート地点に”BEGIN of Route 66”と”END of Route 66”の両方の道路標識がある。

9月28日：いよいよ”Route 66”への出発だ。用意されたレンタカーは真赤なフォードだった。当初、①言葉 ②時差 ③左ハンドル(右側通行) ④食事など多くのハンディキャップにプレッシャーを感じ、胃や腰が痛く、自分がみるみる痩せていくのが分かった。そのプレッシャーの中で日本では経験したことが無いほどの「バケツをひっくり返したような」雨が先を蔽い、疲労を募らせた。

Springfieldに到着。この町は16代大統領リンカーンの生誕地として知られ、リンカーン一色だった。

偶然、明日この町で一年に一度の”Route 66 Festival”があるという。もう一晚延泊して約300台のクラシックカーパレードを見学した。日本からパソコンを持参したが、この日泊まったホテルには”Wireless-B Ethernet Bridge”というLANケーブルを無料で用意してくれた。この先20件のホテルを利用するが、インターネットへの対応がマチマチで苦慮した。

今回のように光ファイバーを無料で用意するホテル、有料のホテル、電話回線が繋がる(有料と無料)ホテル、電話回線さえ使わせないホテルなど様々だった。

9月30日：”Route 66”上ランドマークの”Cozy Dog”で朝食。テーブルはもとより、ビール瓶、ジュースの瓶、何でも”Route 66”のシールが張ってある。

道沿いにはノスタルジーを感じさせる1960代のガソリンスタンド、レストラン、ホテルが点在する。どれも”Route 66”のランドマークだ。立ち寄ったレストランのうち四箇所が時間や曜日の関係でオープンしていなかったにも拘らず、わざわざ店を開けて我々を歓迎してくれ、食事や飲み物までご馳走してくれた。感謝感激！日本では失われかけている「情」を今回の旅で

多く感じた。道を尋ねると20分でも30分でも一緒に車を飛ばして現地まで案内してくれる。



スタンダード石油の古いガソリンスタンド

[色々な”Route 66”]

道路の状態は場所によって大きく異なり、ペンペン草が生えているような”Old Route 66”、完全舗装に修復されている道、完全に廃道となり高速道路(Interstate Highway)に生まれ変わっている道などがある。基本的に旧道とハイウェイ、鉄道(Santa-Fe 鉄道)が並行して走っている。今回の旅は旧”Route 66”を走ることに拘った為、忠実にその道を走行するのは困難を極めた。運転はできない、英語が苦手の家内の”迷”ナビゲーターによる運転は苦勞の連続だった。

[Route 66の道路標識]

走行中、たまに出てくる **ROUT 66** の道路標識を見つけると二人で「この道で正しかったんだ！」と感嘆の声を上げたものだ。そんな時は日本から持参したナット・キング・コールのCD「Get Your Kicks on Route 66」をかけて快適に飛ばした。

時には多少の高低差はあるものの、先が見えないほど真直ぐな道が続く。前も後ろも、右も左も草原(又は平原)で、なんと一時間30分以上対向車に出遭わないこともあった。

10月4日：四つ目の州Oklahomaに入る。アメリカに入って10日近く経ち、流石に日本食が恋しくなり、日本から持っていったレトロ食品を夕食に採る。なんと胃に優しいことか。なんでアメリカ人はハンバーグとコーラだけ



どこまでも続く満ち

(極論だが)であれだけ大きく(太く)なるんだろう。小錦ばりの人間がゴロゴロしている。

今回の旅行のために日本で JAF(日本自動車連盟)に入会した。JAF に入会するとアメリカの AAA(American Automobile Association)の会員と同等の扱いを受けられ、ホテル・レストランなどが割引で利用できる。

Oklahoma City の閑静な住宅地を通過。後からパトカーがサイレンを鳴らして追いかけてきた。なにかな?とっていると、車を右(左でない)の止めなさいと命令される。一時停止でいい加減に止まったのを見られたようだ。旅の目的を告げ、家内が特上の”Smile”を作ると「これからは気をつけて走りなさい」と許してもらえた。アメリカでは警察官に捕まったら「蛇に睨まれた蛙」のように逃れられないと聞いていたのでホッと胸を撫で下ろす。

各州に”Route 66 Museum”(博物館)があり、どこも土産屋を併設し、売上金と”Route 66”を愛するボランティアの人達によって支えられている。

10月8日 Texas 州に入る。

ここで時差が一時間マイナスとなる。この旅で日本からハワイまで五つの時差(0,-14,-15,-16,-19)を経る。

[ホテルやモーテル]

ホテルは色々なタイプのホテルに泊まった。現代のモーテル、1940年代から1960年代のランドマークの古いモーテル、普通のホテル等だが、どうしても泊まりたかった二箇所のランド

マーク・モーテルはあまりに古く、汚れて設備も悪いので諦めて近代的なモーテルに泊まることにした。

New Mexico では”El Rancho Motel”に投宿。ここはかつての映画俳優(John Wayne 他)や大物(Ronald Reagan 大統領)が多く泊まっていることで知られている。



インディアンの住居 ”TEE PEE”

10月9日:”Route 66”のちょうど中間地点、Adrian の”Mid Point”に到着。道脇の看板に「Chicago から 1139 マイル、Santa Monica から 1139 マイル」と書いてある。

レストラン”Adrian Mid Point Café”は生憎日曜日で休業だったが、オーナーがたまたま店の掃除に来ていて中へ案内してくれ、食事までご馳走になった。

[地形と人種]

Texas 辺りから草原になるが、New Mexico からガラリと景色が変わり、土地が乾いた平原となる。New Mexico の観光パンフにはこの地は「362 日が晴天」と書いてある。我々が New Mexico を走行中 2 日間小雨が降ったから残り一日ということになる。

人種もメキシコ人・インディアン(アメリカでは彼らを”Native American”と呼ぶ)が白人の数を大きく上回る。ここもアメリカかと思うほどだ。アーネスト・ヘミングウェイが「老人と海」を書いたと言われる New Mexico 州 Gallup の”Villa de Cubert Tourist Court & Café”を訪れるが、そこはもう倉庫になっていてレストランは営業していなかった。

しばらく走ると”Continental Divide”という妙な看板に出くわす。つまり、この地点から水が西は太平洋に、東は大西洋に流れるというものだが、西にも東にもこの地点より高い山はいくらでもあり非現実的なのだ。どうやら土産屋のジョークで、客寄せ用の宣伝文句らしい。

10月13日：Arizona州に入る。

この地も平原と稜々たる岩山が続く。岩山に大きな穴が開いた”Window Rock”は有名。

[Route 66 保存委員会会長]

今回のドライブで最も会いたかった男、Angel Delgadillo に会えた。Seligman という片田舎に住む彼は床屋と土産物屋を営み、こよなく”Route 66”を愛する。この道を守る会の発起人となり”Route 66”保存委員会会長になる。

[Route66 上最大の難関]

10月20日：Arizona州の西からCalifornia州の東にかけてロッキー山脈の南の部分が架かっており、険しい道が続く。1920年代の道路工事は大変だっただろうと想像しながら山裾を大きく迂回したり尾根伝いを走る。

一山越えた所に Oatman というとても小さな部落がある。名優クラーク・ゲーブルとキャロク・ロバートが新婚旅行で泊まったというホテルがそんな田舎町にあった。



西部劇そのままの出で立ち

[八つ目の California 州]

Colorado 川を渡るとそこは California 州だ。Illinois 州からスタートして八つ目の最後の州

となる。

Newberry Spring の”Bagdad Café”に寄る。ここは正に映画”Bagdad Cafe”の舞台になったところで、”Route 66”上のランドマークでもある。時間が8時を廻ってしまい、営業時間の7時を大幅に過ぎていたのにもかかわらず、店主に事情を話すと快く中に案内され食事を出してくれた。店を出たのはゆうに9時を過ぎていた。この日宿泊を予定していた隣町 Amboy のホテルは営業を停止しており、次の町 Barstow のホテルに入ったのは午後10時を廻っていた。

10月21日：San Bernardino のマクドナルド第一号店でお昼を食べるが、特に一号店だとの説明や看板がなく拍子抜けした。

[完走・目的地 Santa Monica に到着]

10月22日 AM 10:30 二人にとって記念となる目的地 Santa Monica に到着した。

”End of Route 66”の標識がなく、チョッと寂しい気もしたが、それでも感無量だった。

夜は達成感を胸にロスの町を散策した。この夜のロスはとても寒く、セーターの上にジャケットを着てもなお寒かった。僅か37日の旅で日本の春(秋)、夏、冬の三つの季節を経験した。

10月24日：ロス空港でレンタカーを返す。総走行距離4,004マイル(6,406キロ)だった。返却時のHERTZの対応は極簡単で、担当者が車の周りをグルイと廻って、”OK, No problems”で終わり。洗車もせず赤い車も真っ黒、6,000キロを超える運転で小石が当たったりで相当キズが入っていたが全くお構いなしだった。



ついに目的地ロスに到着

<番外編>

私達は”Route 66”から外れて Tennessee 州 Memphis、Arizona 州 Grand Canyon、Nevada 州 Las Vegas、Hawaii 州 Honolulu も訪ねた。

[エルビス・プレスリーに会いに]

10月1日:今回の旅では訪問を見送ろうと決めていた Tennessee 州の Memphis 行きを決定。St. Louis から南にフックして走ること約 600 キロ、遂にエルビスの里 Memphis まで来てしまった。エルビスについての話は後に譲ることにしよう。

メンフィスには先週まで南部でハリケーンの被害を受けた人たちが 8,000 人ほど非難し、一時はホテルが満員になったそうだ。

[グランド・キャニオン]

10月15日:Arizona 州 Williams から一日一本汽車が出ている。1922年に製造され California 州で走っていたというクラシックカー(機関車)で二時間半かけて到着する。



グランド・キャニオン行き列車内

走行中に強盗がカウボーイスタイルで列車を襲い、乗り込んできては金品を要求する。鉄道会社のサービスで、乗客は1\$のチップを渡す。この渓谷、グランド・キャニオンは若い岩で 400~600 万年前、最古の岩は 17 億年前に形成されたと言われている。

[ラスベガス]

10月17日:Las Vegas は Kingman という町から北、約 160 キロに位置する。

今回ドライブに付き合ってくれた家内への“プレゼント”という位置づけになっている。

Kingman を Las Vegas に向かって 100 キロ走るとフーバー・ダムがあり、電気や水が Kingman、Las Vegas 等の町に供給される大切な水瓶になっている。

Las Vegas ではギャンブルに興じたり、色々なショーを見たりして楽しんだ。

3日間のラスベガス滞在中2日雨に降られたが、年に7~10日しか降らない砂漠地帯では大変珍しいことだそうだ。そんな訳で9割以上の人が傘を差さずに歩いている。

[ハワイ/ホノルル]

“Route 66”を東 Chicago から西海岸 Santa Monica まで4週間、6,400 キロを完走した。旅の疲れを癒すのにハワイほど適した場所はないかもしれない。海風が優しく頬を駆け抜け眠気を誘う。

我々のハワイ到着に合わせて会員の高田ご夫妻(No.712)と九州から姉夫婦が会いに来てくれた。

[今回の旅の感想]

- ・アメリカはとにかく広くて大きい。
- ・アメリカは、白人は黒人や有色人種に、黒人や有色人種は白人に、お互いに持ちつ持たれつ、支えあいながら生活している。
- ・アメリカは消費税とチップで成り立っている。
- ・アメリカ人の親切と思いやり。これは日本以上かもしれない。
- ・家内のナビ役は最初どうなるかと心配だったが徐々に慣れ、“名”ナビゲーターだった。
- ・病気、怪我、事故に遭わず幸運な旅だった。

[最後に]

旅の前に後に、また最中に、多くの会員の方から激励のメールやスカイプをいただいて背中を押していただき、私たちはどれほど心強かったことか。最後になりましたがこの紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

[完]

.....

これで良いのか？アジアの日本人 ロングステイヤー？

ペナン支部 No. 495 石原 彰太郎

私もペナンに仕事でやって来て早15年程になろうとしています。4～5年前にペナンで退職されている日本人が集まってもせいぜい数組だったのに、最近はペナンで定住されている方が300名以上、冬場中心に1～3ヶ月の滞在を繰り返す人が1000名程になっている事を思いますと、正に隔世の感を深めざるを得ません。日本人が増えた事により色んなサークルも出来、楽しい仲間を見つける事が容易になった事は喜ばしい限りですが、反面これで良いのかと疑問を持つ日本人の言動も各所で始まっています。以下の具体的な例は、私の知る限りは南国の会の皆様以外のケースですので、ご了承下さい。

今年始めに休暇でキャメロン高原に行き、キャメロン ゴルフ クラブを訪問し、クラブハウスに大きく日本語で張り出してあるチラシを見て驚きました。そこには最近日本人ゴルファーのマナーが悪く現地人ゴルファーから苦情が出ている為、ゴルファーとしてのマナーを守って下さいと書かれていました。キャメロンに滞在するゴルフ好きの友人に詳しく聞きますと、現地人ゴルファーも集まる良い時間帯に、現地人ゴルファーを押しつけて我先にティーオフしようとする日本人が増えて来ている。更にひどいのはキャメロン ゴルフ クラブは色んな所から進入出来る為、受付で金を払わないでゴルフ場に進入し、ただでプレーする日本人もいるとの事。

ペナンでも同じ様な日本人のゴルフ グループが出来始めています。グループを作り数をベースに自分達のメリットのみを貪欲に追及しようとして、現地人もしない様な無理難題をゴルフ場に押し付けて来ています。良識ある他の日本人ロングステイヤーはこのグループの存在を問題視始めています。

何故以上の様な行動をするのか考えて見ますと、やはり日本人の驕りと言うか偏狭な民族性が見て取れます。その様な行動を取る日本人の根底には、1) 東南アジアの後進国では好き勝手に出来る。(彼らが欧米圏に行った場合、同じ様な横柄な行動を取る事はまずあり得ないでしょう!) 2) グループを作れば礼儀を欠いた行動をしても気にしなくて良い。(世界大戦の時の日本軍の行動を彷彿させます) と言う考えがあると思います。

こんな具体的事件もありました。ある日ペナンでロングステイを始めて6ヶ月くらいたったYさんから電話を貰い、タクシーの運転手と口論をしているので、英語の得意な私に運転手を説得して欲しいと要望されました。そんなに運転手が怒るのは何か理由がある筈でしょうと聞くと、Yさんはそんな事は無いと言います。仕方なく運転手と話して見ると、「Yさんはペナンの語学学校に週何回か通っていて、私(運転手)と片道8km程度のドライブをRM8(約240円)で約束した。所が電話があった日、Yさんはマンションから学校に真っ直ぐ行かず2箇所程立ち寄りしたので、追加でRM2(約60円)を請求した。そうしたらYさんはRM2の追加料金を払うのを拒否したので、私は怒った」と説明してくれました。余り常識を外れた行動と言えないでしょうか?(10分以上Yさんと私は話しましたので、本件に関するYさんの携帯電話料金は裕にRM2以上でしょう!)

こういう行動にも日本人のバランス感覚を欠いた面が見えます。マレーシアでは、現在住民税も拠出する国民保険もありません。従ってマレーシアにロングステイする日本人はただでマレーシアの立派なインフラを享受している事になります。その上、マレーシアの退職者ビザは現在大変取り易く、それを取れば5年でも10年でも滞在出来る様になっています。(日本で外国人にいきなり5年とか10年の滞在許可を出すという事が考えられるのでしょうか?しかも日本に定住する外国人は住民税を払っている筈です!) それだけ色々と優遇されている日本人が、現地人もしない様な強行な値切り交渉をしているケースをかなり見かけます。バランス

感覚を欠いた自分のメリットだけを追求した我侷な行動と言えないでしょうか？

勿論マレーシアにロングステイする大きな理由の一つが物価の安さだと思います。そのメリットを追求する事は悪く無いと思いますが、同時にマレーシアに住まわせて頂いていると言う意識はどうしても必要だと思います。その意識があつて始めて現地で良識ある行動が取れると思います。これからマレーシアに来る日本の方々には是非そうした良識と金銭のバランス感覚も持って頂きたいと思います。いいとこ取りだけしようと勝手な行動を続ける日本人は、結局マレーシアに居てもだんだんと現地の日本人や現地人に嫌われ、居所を失って最後はマレーシアを去る人も出始めています。因果応報と言うのはどこにもあり、天の神様は良く見ておられると思います。

最後にペナンで気になっている事を幾つか報告致します。ホームページとか出版物で「ペナン日本長期滞在者協会」と言う公的な団体名を装い、様々なビジネスをしている企業がありますが、ペナンにはその様な公的団体は存在しませんのでご注意ください。またボランティアを自称する人による各種トラブルも良く聞きます。甘い話には乗らず、南の会ペナン支部に相談される事を強くお勧めします。

『南国暮らしの会』に入会して・・・

関東支部 No. 996 歌田 晃一

会員番号996番の歌田晃一と申します。昨年11月に入会したばかりで、まだ南の会のことが良く分かりませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。

私が50歳を超した頃から、定年後は日本を飛び出して暖かい南国で暮らすのも良いのではないかと思うようになりました。

そしてその思いもロングステイ関連の本やホームページを観るようになり、より確実なものに



ハワイにて

なってきました。

そんな時にホームページで『南国暮らしの会』のことを知り入会いたしました。

資料が届いた頃、酒匂理事長より電話をいただき11月度のサロン会に誘われ何も分からない中、女房とともに参加させていただきました。はじめて参加してビックリしました。

会員の多さと、利害関係のない同じ目的の仲間が一同に集まり、今まで本やホームページで得ていたちっぽけな情報でなく、実際に体験された生の情報がこんなに豊富に聞けるのには感激しました。

そして懇親会は安い会費で、きっと乾きものかなんかでやるのかと思ったら、ちゃんとしたレストランが用意されており、これまたビックリです。

懇親会の中では酒の勢いも借り、多くの方からいろいろな情報を得ることができ、この会に入っていればきっと何かあっても会の皆さんが助けてくれるような感触を感じました。

将来のロングステイ先として考えているのは、マレーシアのKLかペナンです。

しかし、この会の中で体験談を聞くとセブやバギオもいいかなと思うようになりました。

要するに暖かい気候で治安が良く物価も安い、そんな暮らしやすい所が候補地です。

そして出来れば定年まで待たないで早期退社で実現したいのですが、はたして年金も出ない中で金銭的にも、そして娘や両親のことなどを考えると本当に出来るのかなと疑問が湧いてきます。

女房も娘が結婚して孫ができれば、孫の魅力

には勝てないとか言っております。(笑)
皆さんからの情報やアドバイスを心得て慎重に考
えていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお
願いたします。

また、私はまだ現役中の身で電気会社に勤めて
おります。

現役ですのでそれ程時間は取れませんが、趣
味のインターネットも含め、何かその方面で会
のお手伝いが出来ればと思っております。

ちょうど私どもの会社で発売しました『ロケー
ションフリーベースステーション』はロングス
テイヤーが待ち望んでいた製品ではないかと思
います。

この製品は国内の自宅等に設置することによ
りロングステイ先のPCで日本のTV番組が自
由に観ることが出来ます。

きっとロングステイ生活を更に豊かにする素晴
らしい製品だと思います。

商売をするつもりなど毛頭ないのですが、サ
ロン会等で開発関連部署よりデモでもしてご案
内でできればと考えております。

実現できるかどうかは分かりませんが、そんな
ことでお手伝いしたいと考えております。

ロングステイについては未経験で分からないこ
とだらけですが、これからもどうぞ宜しくお願
いたします。

自己紹介

関東支部 No. 989 荒川 みつ子

「南の会」には先輩会員のSさんのご紹介で
昨年10月に入会しました。10月10日関東支部
のサロン会に初めて出席し、懇親会にも参加さ
せていただきましたが、みなさんが惜しげもな
くロングステイに関する情報を提供しあう和気
藹々の雰囲気には驚きました。

私は12月中旬から3ヶ月、「チェンマイ」を予
定していたので「地域別テーブル」でもいろい
ろの情報をいただき、誰も知っている人がいな
い「チェンマイ」に行くのに不安がありました

が、チェンマイ支部もあり、すでにロングステイ
されていらっしゃる会員の方もおられるとのこ
とで、たいへん心強く入会して本当に良かった
と思えました。

趣味は旅行と音楽、そして欲張りなので海も
山も大好き、「リゾート地ダイバー」ですから
ロングステイは綺麗な海がある所がいいかも・・・
と、これから住み心地のよいところを先輩諸氏
に情報をいただき、お世話になりながら巡り探
し歩いてみようと思いが大きく広がりました。
どうぞ、これからもよろしくお願いたします。

2006年、私達の 「南国暮らし」計画

関東支部 No. 38 橋本 比奈子

1年1度の「南国暮らし」を始めて今年は10
年目になります。フィリピンばかりですが、マ
ニラ郊外のプエルト・アズールに3回、その後
ダバオに5回行きました。昨年は夏に2人共個
展などの仕事があつて行く事ができませんでした
が、我が家の1年は(長年、学校の講師をし
ていたせい)4月から翌年3月までという感
覚なので、2月か3月に1回、そして例年通り
夏にもう1回を考えています。



プエルト・アズールのゴルフ場

今年は新しい処、セブに行きたいと思ってい

ます。直行便があるので体力的にダバオより楽に行けるだろうというのが第1の理由です。又、体力のない者には新しい場所はとても不安なものです。セブには「南の会」の方々がいらっしやるので、いろいろ教えていただければと願っています。

少し長く滞在できるような私達の希望（料金や環境など）に近いホテルを見つけるのが春の旅行の目的です。もし運良く適当な処が見つければ、夏には1～2ヶ月滞在して、又新しい環境の「南国暮らし」を楽しみたいと思っています。体力などに余裕があれば、そこからダバオを訪ねることも出来るかもしれません。

年々歳を取り体力、知力の衰えを痛感していますが、充分な準備と無理のない計画を心掛けて、周りの方々の迷惑にならぬよう気をつけながら「南国暮らし」を続けて行きたいと思えます。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

南の会と共に

東海支部 No. 741 村田 千岳

#741 東海支部会員の村田と申します。今回、支部長の横井さんに睨まれて、寄稿させていただきます。実は何を頼まれたのかも良く理解せぬままに。何処かの国の有る出来事にスポットを当てた今日的情報提供は他の筆者にお任せして、「自己紹介」、「海外へのめざめ」、「南国生活を考えて訳」、「『南の会』との出会い」、「夢を叶える為に」で綴りました。時間と興味のある方お付き合いください。

「自己紹介」

長崎県対馬市に‘45年3月15日村田家の長男として誕生。団塊世代最前線。対馬は佐渡、淡路に次ぐ3番目の面積の島で人口は約4万人。（約50キロで韓国プサン）この島の数百人の小さい部落で「神童」と呼ばれていたが、小学3年生の時、父親の仕事の関係で、長崎県五島列島の福江市に転校。算数は時

計、国語は見たこともない漢字で〇点続き。親父のスパルタ教育開始。前に座って間違ったら拳骨。教科書は涙模様。

「神童」と言われ、鼻高々だった親父がアホ！バカ！ ひどい！！

5年生の時、対馬では一番の厳原町（いずはら）に戻った。「神童」の再来とはいかなんだが、中学まではそれなりだった。勉強も好きだし金も有った。と思う。しかし、諸行無常。

中二の台風で親父は大打撃を受け倒産。今日の米にも一。大学どころか高校も危ない。

その時、学校で「少年自衛隊」募集を見た。救われたと思った。頑張れば国費で防衛大学に行ける。約35倍の学力試験はパスした。担任の先生も喜んでくれた。体力試験は難なく。次ぎは東京陸幕での面接。金が要るのでここではじめて親に告げた。母親が猛反対。

「長男を兵隊に取られる。」先生も説得してくれたがダメ。村田家では戦争は終わっていなかった。大学への道は閉ざされたが躊躇している時間はない。「県立長崎工業」に方向転換。

進学担任先生が「田舎者が入れる学校ではない。」が、闘志に火をつけた。

以後平均睡眠3時間。食事、買い物、風呂にもメモを放さなかった。目標を持っていたので楽しかった。ビックリするような成績で合格した。3年間良く遊び良く遊び。いよいよ就職。高3秋、級友と2人職員室に呼ばれた。「トヨタと日産から募集が来た。どちらがイイ？」判断能力がない2人ジャンケンをする事に。私は負けてトヨタに来た。負けてトヨタ！人生最大価値有るジャンケンであった。宝くじ等目ではない。今年で40年。内25年タクシーのエンジンを担当。志願して異例のロングラン。

「海外へのめざめ」

35才の時、タイ国エネルギー政策の一環で、ガス車開発をお手伝いすることに。初の海外。

‘69年11月アポロ11号からアームストロング船長が月面へ。「人類にとって偉大な一歩。」

‘82年1月タイ航空から村田がドムアン空港へ。

「自分史にとって偉大な一歩。」タラップを降りる感動はアームストロング船長！今も忘れえない。地図でなく本当にタイがあった！生暖かく独特の香りの空気。タイの全てに魅せられて、

立て続けにタイに。7～8回目には名古屋税関で手荷物検査。悪い事は何一ついや親に授かった顔が？象牙の彫り物のシールまで剥がしての検査。豊田市へは一時間に一本のバスに乗り遅れた。責任取れ！海外旅行に魅せられた私(達)．．．．というの、妻は東南アジアに偏見を持ち積極的に行こうとしないが欧米は友達とでも。これまでにアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、エジプト、欧州、東南アジア等行かせてもらった。

唐突ですが、世界のミリオネアの16%が日本人。日本人は世界の幸福の為に貢献する義務がある地位を占めている。海外旅行に行つてバンバン買い物をして、世界のお金の循環に協力しましょう。ダメですよ！〇〇さん。貯めてばかりでは腐るよ。金の匂いは千里を走る。アレ？



ブリスベンの街並みを背景に

「南国生活を考えた訳」

1、自分探しの旅に出たい．．．日本にいたら、家族、親戚、友人に頼ってずるずると親父2世になるのが怖い。テレビの番人などいやだ相撲が楽しみなどまっぴらごめん。できるだけ小人数で、できれば一人で縁もゆかりもない国で生活し、自分の正体を見てみたい。人生振り返って魚釣り、カメラ、ギター、オートバイ、ギャンブル、酒、〇、株、ゴルフ等すべてが虫食いで何一つ物になっていない。本当は何が好きかも解かっていない。退職金と時間ができるのに困ったものだ。自分自信をぶん殴ってやりたいのです。何処かに放り出したいのです。

2、子や孫の人生の灯台役．．．．放り出す

と言ってもアフリカジャングルでは一週間と生きていけない。ので、自分と契約したのがこれ。おじいちゃんのいる国へ行こう！将来、後に続く子孫を夢みて。

3、腰痛対策．．．40歳まえ、近くの河原から漬物石を運んだ時痛めて以来、「ガラスの腰」寒くなって筋肉が硬くなると、見えない敵との葛藤。くしゃみ、ズボン履き、急に振り向いた時。今年も先日ガラス拭きで痛めた。早く暖かい国に行きたい。

「『南の会』との出会い」

定年間近、南国生活を真剣に考えるようになり、関係情報を見聞する時、自分の経験に一番近い国フィリピンが抜けている事に気づいた。名古屋始のバックツアーもなく、興味もないばかりか、恐ろしくさへある国等と申し訳のない幻想を抱いていた。勝手な先入観と現代情報とのギャップを埋めたくて、どうしてもフィリピンに行きたくなった。

バックツアーはないので個人旅行。現地に詳しい人がいないと無駄が多いので何かいい手段はないものか？近くのコミニティーで本を読み漁って『南の会』を知った。‘04年3月入会させていただき5月マニラ、ダバオを10日間ロングステータ下見をした。塩見さん、平野さんに、また、’05年6月ゴールドコーストでは磯崎さんにそれぞれお世話になった。

入会して本当によかった。皆さん方にただただ感謝！

内容は割愛させて頂くが、それぞれの国、都市の良さが有る。現地現物で各人の素肌感覚確認し、決めるしかない。負けたジャンケンが決めてくれた第1の人生ではなく、第2の人生は、60年の経験と知恵で自分自身で決めたい。

「夢を叶える為に」

60才～70才をいかに生きるかが人生勝負を決すると思っています。親に授かった人生への恩返し。まずは自分自信が「こんなに幸せに恵まれてありがとう」と言える人生を目指す事から全てが始まると思う。自分の腹が膨れる前に他人様の腹を心配できるほど聖人君子ではない。人生貯金をこの時とはばかりに使いきりたい。心意気だけは大きく。オー

ストラリアで住処を決めた後、日本から一番遠い南米、南アフリカ、南極を目指したい。

会社は来年から63才まで定年延長が可能な有りがたい会社ですが、前述の人生観に照らして「60才で定年して海外生活を」といような機会に公言して、自分にプレッシャをかけている。英語すらろくに話も出来ず、ましてや海外在住経験もないが3つの目的を達成したい。自分にとって何が達成できたら真の幸福かゴールなのか未だわかっていないが南の会の皆様、未永くご指導ご鞭撻宜しく申し上げます。私が所属している東海支部は会長の横井さんを中心に明るく、元気で、徳の有る方々の集団で有りがたいです。

最後まで御愛読頂きました皆様、目も心もお疲れ様でした。

2度とこのような素晴らしい機会を与えていただかないように祈念して終わりとします。

友好団体紹介コーナー

★ 財団法人ロングステイ財団

ロングステイ財団は、ロングステイ（海外滞在型余暇）に関するニーズに対応したさまざまな情報の収集・提供やロングステイに関する調査研究、ロングステイヤーのサポート、ロングステイに係るあらゆる活動を行うことを目的として、1992年に通商産業省の認可を受けて設立された公益法人です。

電話 03-3505-4477

FAX 03-3505-4433

E-mail: info@iongstay.or.jp

URL; <http://www.lonngstay.or.jp/>

東京都港区東麻布1-28-2（第六文成ビル2階）

★ ワールドステイクラブ(WSC)

本クラブは「世界で作ろうシニアの生きがい」をスローガンに、海外旅行、滞在生活を通じて精神的な充実と生きがいを求める親睦団体です。

〒162-0827 東京都新宿区若宮町37セレクトビル2階

電話/FAX 03-3268-2731

E-mail: woridstay@nifty.com

URL;<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★ チェンマイロングステイライフの会 (CLLクラブ)

・世話人代表：中西重利氏

・副代表：富谷泰生氏

・事務所：チェンマイプラザホテルの横喫茶店「えびす」の2階

・電話：053-819270

月～金曜の毎日14:00～16:00の間、役員が交代で詰めております。

ご来チェの際には覗いてみてください。

オフィスではクラブ員手作りの珠玉の名著「チェンマイ生活ガイドブック」を、実費でお分けしております。

これさえあれば、チェンマイ暮らし怖いもの無し！

・URL ; <http://www.itagaki.net/c11/>

★(名称)THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL(クアラルンプール)日本人会

(住所) No.2 Jalan 1/86, Off Jalan Taman Seputeh, Taman Seputeh,

58000 Kuala Lumpur, Malaysia

(担当者名) 事務局長 藤井和道氏

(2005年7月3日現在)

(会の概要) クアラルンプール日本人会は1963年に設立されて以来、会員の皆様からの大きなご支援をいただきながら、日本人社会の相互親睦とに日馬間の友好・親善促進という二大目標を掲げ運営しております。これからも、たくさんの方々に参加していただけるよう、より一層の施設の拡充と、マレーシア社会への貢献活動の強化を図ります。皆様のご入会をお待ちしております。

URL;<http://www.jckl.org.my/>

☆ バンコク日本人会

☆ バギオ日本人会

☆ 西豪州日本クラブ

[関東支部便り]

関東支部長 NO.163 宮崎 哲郎

関東支部の10月～12月の活動は3回のサロン会でしたので状況をお知らせします

(1) 10月度サロン会 平成17年10月10日(日)

10月サロン会は情報提供者の方が6名、参加者が総数で

100名弱とすでに「サロン会」を越え「情報交換会」と銘打っても

良いのではないかと思うほどの盛況でした。

(1) サロン会 (13時～15時)

スピーチされた方々及び演題・内容

1. 18 木村 義光 様 「ペナン最新情報：物価、治安など」
2. 341 平野 雅一 様 「ダバオ紹介：場所、気候、物価、生きがい」
3. 80 阿部 功 様 「シルクロードの旅：風土、風習、旅の苦勞」
4. 417 木内 登希晴様 「ヨーロッパ11ヶ国列車によるオンリーワンの旅」

ゲストスピーカー

1. 古河 典夫 様 (休会中) 「カナダ・ビクトリアのロングステイ」
2. 福永 桂津子様 (ロングステイ財団理事) 「ロングステイの最新情報」

(2) 懇談会 (15時～17時)

上記各講師及び関係者を囲み更に詳細な質疑応答を行いました。

(2) 11月度サロン会 平成17年11月13日(日)

参加人員：71名

情報提供者は次の方々です。

- 1.) 会員NO. 740 渡辺 亜雄さん 演題「U. S. A. "Route66の旅"」
- 2.) 会員No. 696 加藤 明さん 演題「ベトナムLS適地調査の旅」
- 3.) 会員NO. 828 磯崎 昇さん 演題「地中海クルーズ報告」

(3) 12月度サロン会 平成17年12月11日

参加人員：100名

- 1) 特別ゲストスピーカーは、ブルガリアから国費留学生としてお出でになり現在東大大学院で日本語を勉強されてるベロニカさんが流暢な日本語でユーモアを交えながら約1時間「ブルガリア」のご案内をして頂きました。才色兼備、素直で優しい性格の彼女が「ヨーグルト、バラ、琴欧州」だけでない「ブルガリア」を一生懸命に説明され、皆さん賛嘆の声しきりでした。
物価が安いこの地をLSの基地とし、ヨーロッパを旅するのも一考かとのヒントを与えてくれました。
- 2) 旅友の454山田清子さん、838松尾智恵子さんがトルコ訪問とそこで発生したパスポート、現金、カード等の紛失事故の顛末と其の処置成り行きをお話して頂きました。ご本人には申し訳ないですが、いつわが身に起こるかも分からない事ですので大変参考になりました。
- 3) 670今野力男さん、同じくセブでのチケット紛失事故についてお話頂きました。
- 4) 341平野 雅一さん
数年住まわれたフィリピン・ダバオでの経験を基に長期滞在、永住の秘訣についていつもの「平野節」で楽しく語って頂きました。「郷に居れば郷に従う」「日本の常識を持ち込まない」が最善のようです。
- 5) 725森実 政純さん 平成18年3月出発の南地中海クルーズのご案内でした。

6) ビジター村林さん

ハワイでグリーンカードに当選しコンドを購入した経過とハワイでの生活等について大変参考になるお話を頂きました。因みに同氏は入会されることになりましたので今後ハワイ志向の方の強い味方がハワイ在住の959皆本さんに引き続きまた増えました。

7) 「南の会パソコンサポーター」宇野 修先生とアシスタントの菊地さん

スカイプについて詳しく分かりやすくお話いただきました。無料電話だけでなくメールでは出来ない大量のデータ、映像の送信など革命的な使い方が出来るこの技術を皆さんも是非ご利用して頂きたいと思います。

[九州支部便り]

17年度九州支部行事報告

九州支部長 No.128 稲延 裕

① 1/19(日) 新年サロン会

NPO交流センター 13:30～16:30

懇親会 17:00～20:30 出席者 19名 歌声喫茶「アムール」

出席会員～16名 ビジター 6名 (計)22名 (春季号掲載済み)

※新会員増加率 平成9年4月創立時～7名、15年8月～16名、16年9月～19名
17年1月～24名、同8月～30名、同11月～32名

② 4/1(金) 花見桜観賞後支部総会 (詳細別紙)

集合地 NPO交流センター入口前 11時集合

場所 黒田城公園 11:20～13:00 其処だけ1部満開だった。

総会 NPO交流センター 13:30～16:30

出席者 稲延(2)、竹村、岡村、堤、朝永、穴見、深松(2)、手嶋、白井、
近藤(2)、国武 (計)14名(敬称略)

※メインテーマ 4/15 開催の熊本セミナーリハーサル。今回始めてパネラー方式の会合で、朝永さん主導のコーディネーター～ラヂエーターに依る段取説明

※総会の感想 祝宴後開催は今後の反省点として残った。(支部長マインド体調不良)

③ 4/15(金) ロングステーセミナー in 熊本 (詳細別紙)

開催地 熊本市手取本町8-9 (テトリア熊本内) 熊本県民交流館「パレア」

出席会員～19名、ゲスト～62名、その他報道関係者

2F会場満杯の盛況 即入会者～2名

会員パネル集合 10:00 (2時間で段取り、準備リハーサル終了 12:00まで)

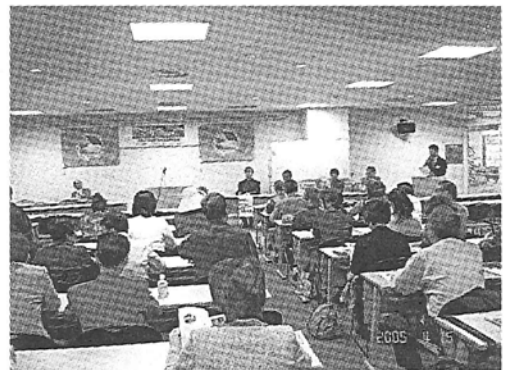
開催時間 13:00～16:00 反省会 17:00～20:30

「寿里庵」18名

報道関係 開催前～新聞3社、地方情報紙2社
(交渉成立)、パレアHP掲載 当日～TV1社、
新聞2社

4/3(日) 17:30 RKK 熊本報道特集

支部招待講演依頼者～高澤副理事長、



セミナー会場

475 森蘭氏 (九州支部) チェンマイ在住 特別応援加藤のりを氏 (チェンマイ在住)

○セミナー次第 オリエンテーション 701手嶋氏 (20分)、コーデーター
581 朝永さん。

開会宣言 竹村副支部長、九州支部長挨拶 (25分)、基調講演講師 高澤副支部長
九州会員 475 森蘭氏 チェンマイ事情説明、同在住 加藤氏

休息 10分後 九州会員自己紹介、会計監査 581 朝永さん主導で九州会員
パネルディスカッション

閉会宣言 朝永会計監査

④ 5/14(土) 「ペナン副支部長 石原彰太郎を囲んで」 19:00～21:30

サロン会 天神料理店 「振子」 (701 手嶋会員の店)

(出席者) 15名、石原、稲延 (2)、竹村、深松 (2)、朝永、穴見、白井、岡村、手嶋、
近藤 (2)、稲田 (2) (敬称略)

※石原氏発信メール、5/7～15日までマレーシア政府観光局の日本へのミッションがあり本局より招待された。① 7～10日東京 ② 名古屋～大阪～福岡へと移動 5/13～14日福岡泊り、14日は時間が取れそう。(4/21 23:00発信)

※本年3月中旬 稲延 (2) 近藤さんとペナン下見調査行で本人講演依頼の約束を取付けていたので。目下近藤さんロングステイ中。

○ 実になごやかな懇親で彼の所要退席が惜しく、全員万歳三唱で閉幕。

⑤ 6/4～6/5 支部長東京本部出張 総会及び支部長会議 (1泊) (会報掲載)

⑥ 8/31(水) 支部サロン会 NPO交流センター 13:30～16:30

① 支部長挨拶と総会報告 ② 自己紹介 新会員は入会動機、リピーター経験、過去職歴 (役員決定の参考のため。でも自由) ③ 熊本セミナー会計報告～深松氏 ④ 情報交換～夫々シテ先の場合報告

出席者 23名 近藤さん～ペナン 6/11～8/10、稲田氏～チェンマイ

6/27～8/22、朝永さん～バンコク 6/28～7/2、穴見さん～

チェンマイ 6/18～7/5、深松氏～バリ島 7/8～7/11、竹村氏～7/5～

7/13、白井氏～バリ島 7/8～7/22、国武氏～ランカウイ島 (マレーシア)

7/12～7/21、ビジター 1名渡邊芳雄 (佐賀) ヨーロッパキャリヤ

懇親会 17:00～20:30 3,000円

※特記 本日始めて会費500円収集なし～竹村副支部長提案～NPO会場使用は無料なので、新会員は徴収するが資料代として～今後の検討課題なり

⑦ 池田会長来福臨時サロン会 11/24 (木) 11:00 NPO交流センター集合

出席会員 7名 池田名誉会長、稲延支部長、竹村副支部長、稲田南国メール管理人
深松会計、国武氏、近藤礼子さん

交流センター 11時～12時30分 情報交換、自己紹介

懇親会 (中食会) 料亭「木曽路」2,000円～コーヒーショップ「スターボックス」270円

13時より～16時まで 池田名誉会長が小倉より帰るまで大いに歓談の輪を広げました。

⑧ 友好団体 ロングステイクラブ (LSC) 事務局 永井優氏招待 (幹旋、651 穴見洋子様)

12月3日(土) 全日空ホテル 13:30~17:45 雑談会
18:00~20:00 懇親会(タラバ蟹食べ放題)

~九州支部役員会~

- ① 1/29(土) 津屋崎町「夕陽館」 稲延 (2) 竹村氏 深松氏 4名(朝永さん所用で欠)
16年度予算決算報告 17年度事業計画 その他ETC 11:00~14:30まで
入浴後フレッシュな所で、少人数の家族会議的に家内が酒と肴を用意する。
- ② 3/10(木) 4月開催予定の総合段取り及び熊本セミナー開催の運営検討
稲延、竹村氏、深松氏、朝永さん ① 9:00~10:00 西鉄グランドホテルロビーにて
② 10:00~12:30 NPO交流センターで続行。
- ③ 8/25(木) 第1回 Skype会議(試験的に) 15:00~17:50
稲延、竹村氏、朝永aさん、深松氏 4名
3人の会話は明瞭でも4人目は会話途切れとなり、判別し難い。大事な話は駄目。
今後検討課題とする。

(以上)

[メーリングリスト委員会]

ML委員会 No.712 高田 勝弘

① 南国暮らしの会メーリングリスト(ML)規約

「南国暮らしの会」の仲間作り、情報交換、いきがいの場としてMLメールを利用し、会員相互が円滑で和気藪々に利用するためMLメール利用の規約を設けます。

1. 申込方法

南国暮らしの会メーリングリスト登録希望者は以下の条件を満たすこととします。

- ① メーリングリスト登録者は南国暮らしの会会員、賛助会員、会友とします。
- ② 登録希望者は事前にウイルス対策を必ず実施してください(ウイルスソフトの利用、或いはプロバイダーのウイルスチェック契約等)
- ③ 登録希望者はhome@minaminokai.com(半角)にメールにて会員番号、氏名、Eメールアドレスを書いて申し込みください。

2. 投稿方法

会員相互の情報交換の場であり日常会話で自由に投稿し、出来るだけ多くの方にMLメール発信を願います。

書き方は

- ① 件名欄には文章の全体がわかる内容を簡潔に記載ください。(受信多い方は、件名のみで内容判断し、削除等の処理をする方がおられます)
- ② 文章の最初に自分の会員番号と名前を必ず書いてから情報内容を記入ください。
- ③ 文章は、簡潔に、楽しく皆さんに情報提供願います。(長文の時は、「関心ない方は以下削

除して下さい」等あると親切です)

- ④ 添付資料、写真等はあまり容量が大きくなりえない程度に願います。(現在は一時添付不可です)
- ⑤ MLメールを発信しますと、メーリングリスト登録者全員に配信されます。
MLメールの宛先はnangoku@yahoogroups.co.jp です。
- ⑥ 海外交信等必要な方を除き、ウイルスメールとの判別の為「発信者名」は日本字で願います。
- ⑦ 文字サイズは12フォントにし、一行の文字数を全角で30字から35字程度にして下さい。

3. 投稿内容

近況情報、体験情報、仲間作り情報等をメーリングリスト登録者全員に発信願います。又質問等にも利用下さい。ユーモアを交える等して読む側の気持にも配慮願います。メーリングリストを読まれた方は投稿者に意見、感想等の返事を願います。折角、投稿しても何の返事もないのは寂しい限りです。

4. 遵守事項

「南国暮らしの会」はボランティアの会です。会としてふさわしい内容を維持する為以下の遵守事項を設けます。

- ① 個人の中傷、誹謗、批判等、他人のプライバシーに関する情報は禁止です。
 - ② 全員に対する発信ですので、個人間同士のメール交換は避けましょう。やむを得ない場合は件名に「私信〇〇様」と書いて発信下さい。
(自分自身の近況報告は大いに歓迎です。全員向け内容を含む場合や投稿への意見・感想等も歓迎です) また、各支部限定のメールは件名に「〇〇支部」と入れてメールして下さい。
 - ③ 政治、宗教及び思想的な話は禁止します。(但し その国の情報としての発信は可です)
 - ④ 営利行為、宣伝行為は禁止します。(同じ情報の繰り返し等です)
 - ⑤ このメーリングリストは楽しい情報交換の場です。論戦の場ではありません。
他人が不快と思われる内容は禁止します。
 - ⑥ インターネット委員会では以上の条件或いは「南国暮らしの会」に不適切な内容と判断した場合、当事者に警告、勧告、登録抹消等の処置、及びメーリングリストの投稿文章削除をさせていただきます。
5. 管理人はウイルス発生等緊急時に対象者を登録から一時的にはずし被害を最小限に食い止める処置を行います。回復時には本人の申し出により再度登録致します。

6. 管理人はインターネット委員会の5人が担当します。

① オーナー

・No:712 高田 勝弘 : toro21@ric.hi-ho.ne.jp

・No:080 阿部 功 : abeisao313@yahoo.co.jp

② 管理者

・No.740:渡辺 亜雄 ・No.625:工藤 俊一 ・No.111:堀江 幸博

※アドレスの変更、廃止等は「会員担当アドレス」 home@minaminokai.com に連絡下さい。

② 南の会会員へのドメインメール取得について

南国暮らしの会は、本年ドメイン名「minaminokai.com」を取得しておりますので、会員の方がドメインアドレスを取得することが出来ます。

取得する希望者の方は下記にお申し込み下さい。

申込先 home@minaminokai.com

尚 取得するにあたり下記原則を遵守願います。

1. 料金は別表の通りとなりますのでご参照願います。また料金につき当会は責任を持ちませんので各個人が直接「アルファ総合研究所株式会社」にお支払い頂きます。
2. ドメイン名は 氏名及び会員番号に限らせて頂きます。

(例) 南国 100@minaminokai.com

3. メール使用に当たっては当会の名を損なわないようにお願いします。
4. 当会退会する場合にはドメイン名は使用出来なくなります。

料金表

サービス名	サービス内容	月額料金	年払合計料金
ダイヤルアップ追加接続 ID 840 円/月	電子メールアドレス追加 210 円/月 (1 メール アドレス)	1,050 円/月	12,600 円
アルファ・モバイル追加接 ID 840 円/月		1,050 円/月	12,600 円
フレッツ・ISDN 追加接続 ID 315 円/月		525 円/月	6,300 円
フレッツ・ADSL 追加接続 ID 630 円/月		840 円/月	10,080 円
B フレッツ・マンション 追加接続 ID 1,260 円		1,470 円/月	17,640 円
B フレッツ・ファミリー 追加接続 ID 1,575 円		1,785 円/月	21,420 円
B フレッツ・ニューファミリー 追加接続 ID 2,100 円		2,310 円/月	27,720 円
B フレッツ・ベーシック 追加接続 ID 2,625 円/月		2,835 円/月	34,020 円
<p>■フレッツADSLとBフレッツとフレッツISDNは別途NTTより月額料金が請求されます。またモバイルも同様となります。</p> <p>■フレッツADSLとBフレッツとフレッツISDNはNTTの工事が必要となります。</p> <p>※初回のみアルファインターネット内の工事費がかかります。</p>			

③ メーリングリスト (ML) 等での 寄付金募集に関する理事会見解

過日のパキスタン大地震に関連し、会員からMLで電話募金を募られていた。本件に関し、一部会員からMLにての呼び掛けは不適切ではないかとの意向もあったため、理事会に諮り審議の結果、会として以下の如く考える事にしました。

1、義援金に関する個人の勧誘行為は会としてその行為に関与しないが、会のMLを使用することは出来ない。但し、理事会の承認を得た義援金については理事長名で会のMLを利用することが出来る。

2、義援金等の呼び掛けは多くの団体、機関で行われています。それぞれの呼び掛けに対し自分の思いとマッチしたら、呼応して貰う事が最善である。

3、ボランティアや寄付などは、国内外を問わず金銭だけでなく、労力、知力等々人それぞれの身の丈で、出来る範囲で行って欲しい。

NPO法人は夫々目的を持った団体であり、我々「南国暮らしの会」は定款第3条【目的】に則り運営されている団体で、慈善団体ではありません。寄付金に関しては個人の意思でお願いしたい。

但し、我々がお世話になっている国々での大災害などには、会として呼び掛ける事が有るかも知れません。その場合理事会に諮り実施します。したがって第一項をML規約第4条第5項として追加させて頂きますのでご了承下さい。

[総務部会]

担当理事：宮崎哲郎・菊地 功

9月以降の総務部門の主な活動

10月06日：規定・必携編集委員会開催。

10月13日：総務部会開催。

10月30日：第3回理事会開催。

*安藤公二郎理事退任。

*細則大巾見直し作業。

*国内・海外各支部の提言審議。

*橋本慧理事・今野力男理事就任。

11月04日：総務部会開催。

11月27日：第4回理事会開催。

*田村康夫K/L支部長追認。

*村上安バンコック支部長承認。

*山田宏秀理事退任。

12月中に理事2名退任・補充の役員変更届けを行う予定。

[経理部会]

経理部会より新年によせて

No. 434 大野 悦子

新年明けましておめでとうございます。

(この新年号が皆さんのお手元に届く頃は、一月の末に近くなっておりますが・・・)

月日のたつのも速いもので、この会に入会して丸4年が過ぎました。年2～3回行われる情報交換会はもとより、関東支部の月例のサロン会(平成14年1月から始まる)に、熱心に参加しておりましたら、「理事になって下さい。」とお声が掛りました。私でお役にたてればと、お引き受け致しました。そして、サロン会で受付のお手伝いをしてありますうちに、「会計担当をお願いしたい。」と、要請がありました。

どの担当の仕事も大変ですが、特にお金に関わることは責任が重いのでお断りをしたのですが、酒匂理事長が、「家庭の主婦で、家計簿をつけてきりもりしているのだから、大丈夫です。」と、あまり負担に思わないようにして下さいだったので担当させて頂くことになりました。

6～7年前に会社の事務の手伝いをしてエクセルを習っていたのですが、しばらく遠ざかっていたので忘れていた部分がありましたが、お陰さまでまたエクセルが勉強できました。若輩の私ですが、池田会長をはじめ、酒匂理事長、宮崎副理事長の暖かいサポートで、1年半あまりが過ぎました。

私が入会した時は、400番代でしたが、昨年、11月上旬に1000番代になり、本当に大きくなりました。TVや新聞、本や雑誌に海外でのロングステイが取り上げられ、団塊の世代が定年退職を迎え、ますます会員が増えそうです。

皆さんから頂いた入会金や会費をしっかりと管理し、会報の発行をはじめ、国内外の支部の活動費などに役立っているか、予算担当理事と連携して会の運営をしっかりとしていきたいと思っています。

ここでお願いですが、この新年号に新年度の会費納入の振り替え用紙が同封されております。継続される方は、2月末が締め切りになっておりますので、遵守して下さい。17年度の途中から入会された方は、まだ1年が経過していませんが、新年度の会費を納入して下さい。途中からの方は、その代わりに1年分の会報などの資料を差し上げております。ご了承下さい。

最後に本音を申し上げれば、年度末の会計監査が終わったら、ここしばらくお留守番だったので、皆さんのように海外へロングステイに出掛けたいです。その節は、各海外支部長の皆様、宜しくお願い致します。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

海外支部「べからず集」

総務部会支部推進担当 No.163 宮崎 哲郎

南の会員は圧倒的に海外支部のある国、都市を訪れます。そしてその支部長さん、並びに関係者にお世話になっております。

其のとき皆さんは其の方々に大変なお世話や、ご迷惑を掛けたりしていませんか？会員数が増えるに従い問題を起こす方が多くなり各支部より苦情が沢山きております。

自分ではその感覚はないが「無意識に」とか、「自分の常識では」とか、により自覚しないまま一生懸命に奉仕をしている相手に不快感を与えていないでしょうか。

各支部をお世話してる支部長さん自身の性格、その国等の事情等により各々問題に対する捕らえ方が違っておりますので訪れる方が多いチェーンマイ、ペナン、ダバオ支部からの「こんなことしないで欲しい」の“べからず”（マナー違反）を各々取り上げてみました。

どうかこれを参考に海外に於いて行動しマナー違反などしないで、お互い楽しく愉快地に「南国暮らし」をエンジョイしましょう。

(1) チェンマイ支部より

1. 支部に連絡なしの往来をしないように・・・訪問者は必ず連絡を入れてください。何か有った時に困ります。初心者だけでなくベテランの方にも多いようです。これは何処の支部でも同じです。問題発生時だけ連絡されても、それは？です。

2. 支部にホテル探しを依頼したにも関わらず、勝手に（日本）の旅行社に変更すること。

3. 事前にアポイントを取らずに突然日本人宅を訪問する・・・これは日本国内でそう云うことをすると非常識ですし普通はやりませんね、海外においてもされる側は大迷惑ですし常識外です。

4. 支部に何もかも（空港への送迎・観光ガイド・ホテル、コンドの手配等）を依頼すること。これらをどうすれば良いかを事前に御相談することは良いでしょうが支部は旅行代理店ではありませんので自分で手配実行を原則として下さい。

(2) ペナン支部より

1. 会員が支部を訪れて「会に反目、悪意、憎悪」の念を持つ個人又は団体に故意に接触しないで下さい・・・ペナンの特殊事情もあります。現地において支部関係者からこれら「南の会」に良い感情を持っていないグループの情報を入手してください。

2. 支部の推薦するエージェントまたは旅行者業者を利用して下さい。不満、トラブルが起きないし、解決しやすい。他の業者にも声を掛けるような二股掛けるような事はしないこと。

3. 宿泊のホテル、携帯電話番号、その他連絡先を必ずお知らせください。

これは何処の支部でも同じです。

4. 日本人、「南の会員」としてのプライドと名誉を傷つけるような所作はしないこと。

「南国暮らしの会」は今や日本に限らず外国でもその存在は有名なのです。

会員は会員であることに誇りを持って行動していただきたい。

5. 「支部」内に亀裂を生ませるような言動は厳に謹んで下さい。

訪問者はお客さんです、個人で言えばお客さんがその家庭に騒動を起こすような言動をすることなんてとんでもないことですね。静かにロングステイをしてる支部において支部員以外の方が外部からそのような事はしてはならない事は当然です。

（2）ダバオ支部より

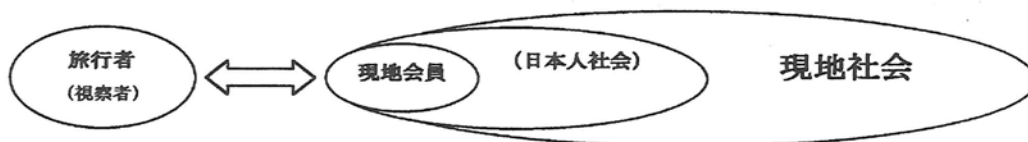
1. 問題発生の根源

旅行者（視察者）がその地に滞在するのは一時的。旅行者（視察者）にとっては「どんなバカな、恥ずかしい、非常識なこと」をやってもその地を離れてしまえば関係ない。しかし、現地会員は半永続的に現地の地域社会の一員として生活していくことを決心し実践している。だから、現地会員は「バカな、恥ずかしい、非常識なこと」をやらないように気をつけている。

旅行者（視察者）が「バカな、恥ずかしい、非常識な行為」をお土産として現地会員（またはその地域社会）に置いていった場合、現地会員は自分の生活を守るためにその尻拭いをやらなければならないことになる（現地の人との人間関係修復など）。

「旅の恥は掻き捨て」と「郷に入れ郷に従え」の立場の相違が問題発生の根源。

2. 「旅行者（視察者）と現地会員」の関係構図



（1）現地会員は自分自身がその地で快適に生活するために、よい人間関係構築など現地社会に溶け込む努力をしています。その努力の積み重ねをしなければ、その地で快適な生活を送ることができないことを知っているからです。

しかし、その地で努力して築き上げてきたことをその地に根をおろしていない人たちによって壊されたら、大ショックです。現地会員は旅行者（視察者）との関係よりも現地社会との関係を優先しなければ、永住（長期滞在）という当初の自己目的を達することはできません。従いまして、もし、現地社会と一過性（旅行者・視察者）の人間との間で何か問題が生じた時、現地会員は現地社会との関係を最終的には優先せざるをえません。以上のことを旅行者（視察者）は念頭においた上で現地会員と接しないと現地会員との間に問題が発生します。

（2）現地会員は見知らぬ人であっても「同じ会員同士だから」現地で接見したりお世話をします。お世話されるのですから、お世話する（現地会員）側に立った細心の気使いをする必要があります。（1）に記したように現地会員の努力を無にするようなことは絶対にしてはなりませんし、現地では現地会員の助言を真摯に受け止め実践する必要があります。

（3）このようなことを言うと「お前は同じ会員同士だよ。」「お前は同じ会の支部長だよ。」と言われそうですが、結論は「そうです。」なのです。それがいやならば、初めから接見したりお世話を頼まなければいいと思います。そのような人は当会の会員としてではなく、あくまで個人として各地を訪ずれるべきです。会を利用するだけ利用して、且つ自分の欲を優先するのは身勝手すぎます。

（4）以上は真理。

3. 現地でやってはいけないこと

(1) アポイントを取らない訪問。

説明：言うまでもありません。南会だけの支部長や会員という立場だけで活動をしているわけではありません。言い換えれば、その立場よりもその地での生活リズムが大切です。しかし、その立場から「自分よりも訪問者を大切にしなければ」という気持ちも持っています。その両方の気持ちを持っていることを理解してアポイントを取る必要があるのではないのでしょうか。支部長（会員同士）なのだから会ってくれるのは当たり前だ、などという態度は論外です。

(2) 滞在日程や滞在先を伝えない。

説明：南会の一員としての立場を利用せずに滞在するのであれば、連絡しなくても構わないと思います。しかし、この場合は「自分は南会の一員である」こと「支部長（会員）を知っていること」を滞在先で他人に絶対に話すべきではないと思います。通常、支部長は滞在中の会員に対して「何かあったらどうしよう？」「大丈夫かな？」等々心配します。滞在日程や滞在先を支部長に連絡するのは当然ですが、時々「元気にやっていますよ」くらいの連絡をしたほうが良いと思います。

(3) 日本人以外がその場に居る所で日本の常識を持ち込む。

説明：日本人同士であれば日本の常識で接すればいいのですが、その場に現地の人がある時は現地の常識で接するべき。冒頭に述べたように、現地の人たちと良い人間関係を築く（キープ）努力を日常しているので、非常識なことをされると、その努力が水の泡となる。現地の常識を解らなければ遠慮なく日本人に聞くべき。

(4) 現地の人に紹介しても挨拶をしない。

説明：現地の人に紹介する時にちゃんとした挨拶ができる人が少なすぎる。

日本人は挨拶もろくに出来ないのか」「お前は変な友人と付き合っているな」などと思われ恥ずかしい。多分言葉の壁があると判断できますが、少なくとも相手の目をしっかり見て笑顔くらい作れるのは？また、現地語での挨拶くらいは事前学習しておくことが必要。

(5) 必要以上に値切る

説明：これは一緒にいて本当に恥ずかしい。現地物価が解らず騙されたくないという気持ちは理解できるが、現地会員がいるのだから現地会員に聞くべき。まして、値切ることを楽しんでいるケースなどは論外。その人はそれで楽しいだろうが、現地の人々は皆んな生活するために必死に頑張っているのです。

(6) のんびりした現地のペースにいらいらした態度をする。

説明：空港のチェックインインカウンター・お店のレジ・レストランの会計・ホテルのチェックイン等の時、ゆっくりしていても決して怒ったり、いらいらしてはいけない。大体现地の人は歩くことから、仕事に於いても日本人と違ってゆっくりとしたペースです。それを感じ取るようなゆとりを持って周囲を見るようにして下さい。

【編集後記】

新年号の会報作成に当たり、国内外の各支部長を始め、投稿をしてくださった会員の方々には、お忙しい中、急な原稿依頼にも拘らずご協力いただき本当に有難う御座いました。今回、「役割分担スタイル」、をとって頂きました。

経験豊富な龍野様には総括編集管理、市東様、渡辺様、小林様、菊池様、には会報作成未経験の村松の原稿集めに全面的バックアップ体制を引いて頂きました。お陰様で、なんとか役目を果たす事が出来た次第です。

改めてご協力いただいた皆々様に、心から感謝とお礼申し上げます。

原稿集めを通じて、この「役割分担スタイル」ならメールが打てれば、何処でも（海外でも、会員数の少ない支部でも）会報作りが出来るのではないかと感じた事です。

北海道から海外まで、毎号、発信地が変わって会報作りがされると会員のコミュニケーションがさらに深くなるのではと思いました。

会員の皆様には、2006年新たなる第一歩の歳となりますようにと祈念しております。

新年号担当 281 村松幸子

平成18年度継続会員申し込み受付

恒例の年度替わり継続会員の募集時期になりました。別添の郵便振替用紙にてお振り込み下さい。本会の18年度は4月1日からです。

会費は年度会費制で途中入会者に対して月割り計算は致しません。但し当年度発行のは全てお届けしております。

17年度途中入会者で違和感をお持ちの方もいらっしゃるでしょうが、18年度会員で継続される場合は新年度の会費を拠出して下さい。

納入期日：平成18年2月末日

注意(1)：期日までに会費未納者には1回催促し、それでも未入の場合は退会者として扱い、会員名簿から削除されます。(細則第9条6項)

注意(2)：10月1日以降の復帰者は再入会金5千円が必要になります。(細則第9条8項)

お願い：郵便振替用紙の通信欄に必ず会員NO.をご記入下さい。

次回「春季号」は4月下旬発行です。
ご期待下さい。

【会報編集委員】

No.117	龍野 宏	hirochan@rurbannet.ne.jp
No.327	市東 明義	a-e-shito@mtb.biglobe.ne.jp
No.240	菊地 範夫	norikikuchi@hotmail.com
No.462	小林 孝	tf-koba@cf6.so-net.ne.jp
No.281	村松 幸子	skaijmura@mtf.biglobe.ne.jp
No.465	橋本 慧	hasimoto@eps1.comlink.ne.jp

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 酒匂 景輝

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

TEL/FAX 03-3472-9954 <http://www.minaminokai.com/>

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU